

川越市議会 100周年記念誌

1 9 2 3 ~ 2 0 2 3



川越市議会 100年の歩み

川越市議会100周年記念誌発刊に寄せて
発刊を祝して

2 川越市議会議長 小野澤 康 弘
3 川越市長 川 合 善 明

川越市の概要 4
川越市議会100年の歩み 6

6 第1期 19 第14期
7 第2期 20 第15期
8 第3期 21 第16期
9 第4期 22 第17期
10 第5期 24 第18期
11 第6期 26 第19期
12 第7期 28 第20期
13 第8期 30 第21期
14 第9期 32 第22期
15 第10期 34 第23期
16 第11期 36 第24期
17 第12期 38 第25期
18 第13期

川越市議会を場所・モノから見る 40

資料編 44 歴代議長一覧

45 歴代副議長一覧

46 議案が議決されるまで

編集後記 47 川越市議会100周年記念誌制作委員会

委員長 山 木 綾 子



川越市議会100周年記念誌発刊に寄せて



議 長
小野澤 康弘

市制施行100周年を機に本市議会に眠る数々の資料を整理し、市民の皆様
にその一部を紹介したいという思いから、記念誌制作委員会を立ち上げ、記
念誌発行に向けて準備を進めてまいりました。この度、「川越市議会100周年
記念誌」を発刊できましたことは大変喜ばしい限りです。

川越市は、大正11年12月1日に、人口約3万人で埼玉県下初の市制を施行
いたしました。翌大正12年2月に第1回市議会議員選挙が執行され、30名の
市議会議員が誕生しております。それから100年の間、田面沢村、近隣9か村
との合併を経て、現在35万余の人口を有する中核市として大きな飛躍を遂げ
てまいりました。

町から市への移行期においては、市の名にふさわしい姿となるべく、公共
施設の建設やインフラ整備に力を注ぎ、第二次世界大戦の復興期から、その
後の高度経済成長と都市化が急激に進む中においては、そこから派生する課
題に取り組んでまいりました。そして現在、超高齢化と人口減少、社会資本の
老朽化や環境問題に対する持続可能なまちづくりは急務となっております。

大正・昭和・平成・令和と時代の潮流は様々ですが、これまでの100年を振
り返り、市の発展のために尽くされた先人のご苦勞に思いを巡らせ、また、こ
れを皆様と共有する機会を得られましたことは、次の100年の礎となるもの
と感じております。

近年の地方分権改革の推進は、地方公共団体の権限を拡大させ、その中
において、地方公共団体の意思決定や執行に伴う監視を担う地方議会の果たす
役割はますます重要になっております。地方の力が問われる時代であって、
市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえ、市民の皆様の信頼と負託に応え
る開かれた議会を目指し、市議会が一丸となり努力してまいっている所存です。

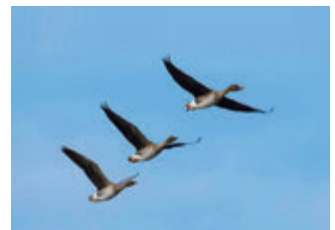
結びにあたり、本誌の制作にご尽力くださいました委員の皆様を始めご協
力くださいました関係各位に深く感謝申し上げます。発刊のあいさつといたします。



市の木
欐(かし)



市の花
山吹(やまぶき)



市の鳥
雁(かり)

発刊を祝して



市長
川合 善明

川越市議会の発足から100周年という大きな節目を迎えられますこと、心からお祝い申し上げます。

この度、川越市議会100周年記念誌が発刊されますことは、市民の皆様の議会への関心が高まるものと期待しております。

本市は大正11年12月1日に埼玉県下で初の市制を施行してから、県南西部地域における産業、経済、文化の中核都市として発展し、人口におきましても市制施行時の約3万人から35万人を超えるまでになりました。

平成15年に県内初の中核市へ移行し、川越駅周辺地区を始めとした都市基盤の整備・拡充、民間保育所の整備等の子ども・子育ての施策の充実などが着実に進められ、地域の拠点都市としての役割を果たしてきました。

これまで、歴代の正副議長をはじめ、市議会議員の皆様には、市政発展にご尽力いただきましたことに、改めて深く敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。

次の100年に向けて、市議会議員の皆様をはじめ、市民の皆様とともに、これまで先人たちが築き上げたものを次の時代へと継承しながら、人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまちを目指し、全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、川越市議会の益々のご発展と議員各位のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

市民憲章



市章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

川越市

の概要

川越市は埼玉県の中央部よりやや南、武蔵野台地と呼ばれる台地の東北端に位置し、入間川が西部から北部にかけて流れている。



紀元前5～6千年の昔には東京湾が仙波付近まで入り込んでおり、人間が生活するのに条件がよかったためか、仙波台地・新河岸台地には、縄文・弥生時代の住居址が多く見られ、密集地であったといえる。

奈良・平安時代には、「いりまのごおり入間郡三芳野の里」として遠く都にも聞こえた地方文化都市として「伊勢物語」にも登場するようになった。



平安末期から鎌倉にかけて武蔵武士が勃興し、室町時代の中頃、長祿元年(1457)上杉氏の命により太田道灌が川越城を築くと、川越の中心は現在の所に移った。



安土・桃山時代の天正18年(1590)徳川家康の関東入部に伴い、川越藩がおかれて以来明治維新まで川越は江戸の北辺の護りとして、また豊富な物資の供給地として大いに栄えた。

江戸幕府は川越を重視し親藩・譜代の有力大名を配し、特に川越の町割、新河岸川の開削などを行った老中松平信綱、三富地区の開拓を行った大老格柳沢吉保は幕政にも大きな影響を与えた有力大名であった。

また、松平大和守は7代100年にわたり川越藩主をつとめた。「小江戸」と呼ばれるほどに繁栄をみせたのもこの頃である。新河岸川を利用し、大消費地である江戸への物資の舟運による経済効果によるところが大きく、毎月九斎の市が開かれ業種別の十組問屋が株仲間を組織していた。町には蔵造りの店舗が

軒を並べ、祭礼には江戸の天下祭をそのまま模した絢爛豪華な山車が町衆によって曳き回された。



明治になってからも川越は県内第一の商業都市として大いに力を発揮した。主なものは穀物の集散で、織物、たんすは特産品であった。明治26年には、町の3分の1を焼失するという大火にみまわれたが、焼け残った土蔵造りの家を見て直ちに防火建築としての蔵造り店舗を続々と建設するほどの経済力を持っていた。

明治22年の市町村制施行により川越町となり、大正11年には仙波村と合併し県下で初の市制を施行した。その後、昭和14年に田面沢村を、昭和30年には周辺の9か村(芳野・古谷・南古谷・高階・福原・大東・霞ヶ関・名細・山田)を合併して現在の川越市になった。



川越市は、第二次世界大戦の戦火から免れたこともあり、喜多院、蔵造りあるいは時の鐘など市内の随所に重要な文化財が昔のままにあり、文化財の宝庫とも言われている。

このように古い文化と伝統をもつ川越市も新しい時代への脱皮を図り、「近代都市川越」と変わってきている。

工業では川越狭山工業団地や芳野地区の川越工業団地など各所に工場を誘致するとともに、商業では川越卸商団地をつくるなど、新時代に即した施策をとってきた。平成11年3月に「業務核都市」に指定され、平成15年4月には「中核市」へ移行した。都心からおよそ30キロメートルに位置するベッドタウンでありながら、商品作物などを生産する近郊農業、交通の利便性を生かした流通

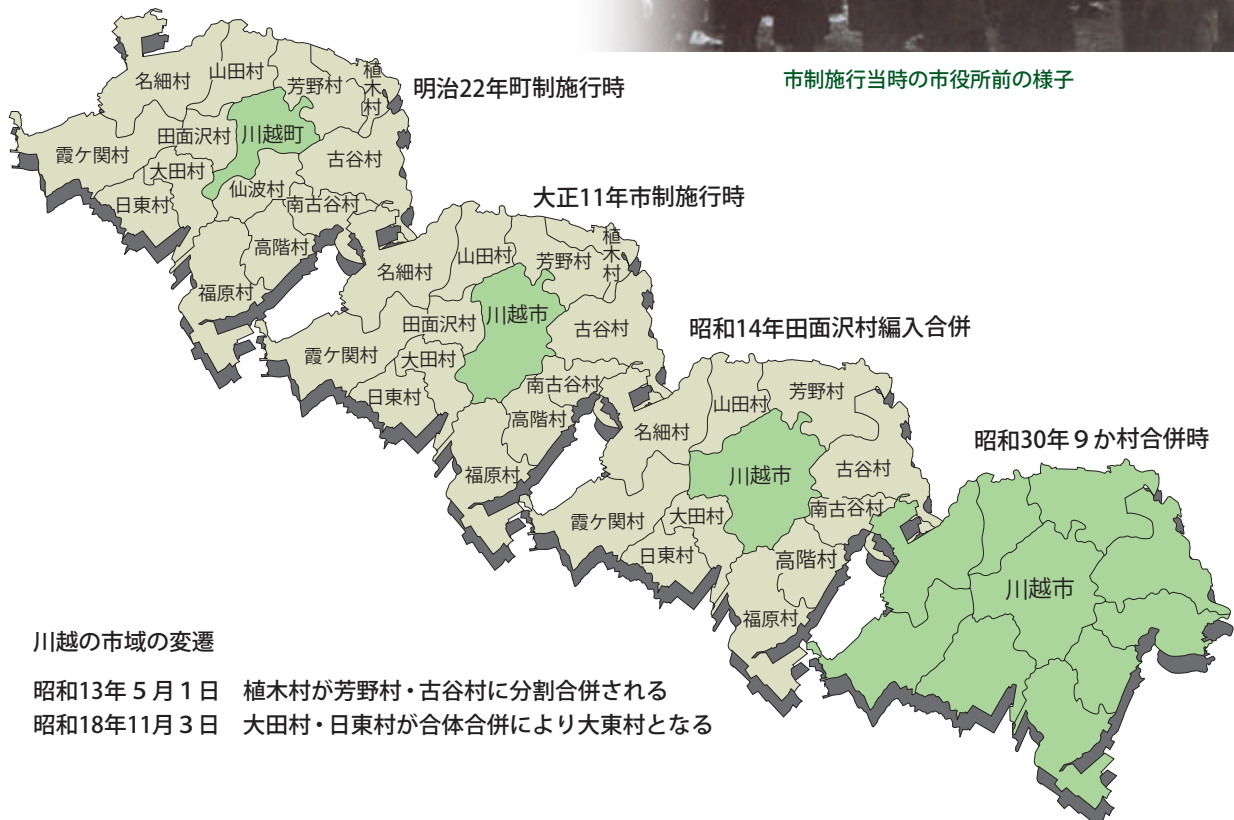
業、伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を有していることが川越市の特徴であり魅力であるといえる。



第8期和服姿の女性議員



市制施行当時の市役所前の様子



議員定数 30名 期中所属数 30名(男性30名・女性0名)



議員一覧 (50音順)

安部 立郎	岡田 健	高山 俊吾
綾部 清三郎	小倉 長三郎	對崎 長太郎
(惣兵衛)	岸野 鶴之助	戸田 瀧蔵
綾部 恒之助	久津間 元吉	内藤 助治郎
石川 仁平	栗原 伊與蔵	永田 保之助
井上 勘兵衛	桑村 又吉	沼田 文次郎
印藤 順造	小山 三省	船津 長喜
印藤 元右衛門	小戸 安太郎	矢澤四郎右衛門
大塚 釜衛	鹿戸 徳次郎	山内 庫之助
	鈴木 清四郎	横関 幸三郎
	染谷 幸助	渡邊 竹次郎

会派一覧 (50音順)

- 公友会
- 鉄心会
- 同志会

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 大正12年
(1923) | ● 2月13日 第1回市議会議員選挙(定数30名) |
| | ● 2月14日 // |
| | ● 2月24日 矢澤四郎右衛門氏初代議長就任 |
| | ● 2月 市立職業紹介所を郭町に設置 |
| | ● 3月 火葬場使用条例を制定 |
| | ● 9月1日 関東大震災 |
| | ● 11月1日 川越市教育会が発足 |
| 大正13年
(1924) | ● 11月1日 川越市区設置規程ができる(制定) |
| | ● 川越尋常高等小学校(現川越第一小学校)校舎改築 |
| 大正15年
(1926) | ● 4月 川越尋常高等小学校内に埼玉県川越商業学校開校 |
| | ● 8月26日 下水道第一期工事に着手 |
| 昭和元年
(1926) | ● 12月25日 昭和に改元 |



第1期では、3つの会派(公友会・鉄心会・同志会)が誕生した

議員定数 30名 期中所属数 30名(男性30名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

②綾部 惣兵衛
石川 仁平
印藤 順造
印藤 元右衛門
小倉 長三郎
岸野 鶴之助
小山 三省
鹿戸 安太郎
鈴木 徳次郎

染谷 清四郎
高山 俊吾
戸田 瀧蔵
(馬蔵)
永田 保之助
渡邊 竹次郎
①新井 平吉
岩澤 善蔵
大野 善太郎
小原 恒雄
木崎 守長

岸 傳平
窪田 準一郎
久米原 脩丈
栗原 登喜蔵
関澤 節治
高山 和市
田島 留吉
野々山吉右衛門
畑尾 源太郎
森田 國蔵
矢島 利三郎

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公友会
- 鉄心会
- 同志会

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | |
|----------------|--|
| 昭和2年
(1927) | ● 2月13日 関東地方初の男子普通選挙制による市議会議員選挙(定数30名) |
| | ● 4月1日 川越北、南、仙波各尋常小学校をそれぞれ川越第一、第二、第三尋常小学校と改称 |
| | ● 4月16日 西武鉄道、川越・高田馬場間が連絡 |
| | ● 12月15日 埼玉県川越商業学校の新校舎(郭町)が落成 |
| 昭和3年
(1928) | ● 7月2日 川越市衛生組合の設置が認可 |
| 昭和4年
(1929) | ● 4月 常備消防が設置される |
| | ● 6月 川越耕地整理組合の設立が認可 |
| | ● 12月29日 東上線、池袋・寄居間が全線電化 |
| 昭和5年
(1930) | ● 9月16日 市長派、反市長派の対立から任期途中で市議会議員総辞職 |

市立川越高等学校の変遷

■現在の市立川越高等学校は、大正15年に埼玉県川越商業学校として開校し、戦時下での川越工業学校への移行や戦後の川越市立高等女学校との合併による共学化、川越商業高等学校への改名などを経て現在に至っています。



昭和2年12月に完成した商業学校新校舎

議員定数 30名 期中所属数 34名(男性34名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ③ 印藤 順造
印藤 元右衛門
小倉 長三郎
染谷 清四郎
高山 俊吾
永田 保之助
- ② 新井 平吉
岩澤 善蔵
木崎 守長

- 久米原 脩 丈
栗原 登喜蔵
関澤 節治
- ① 新井 長治
石川 今次郎
市野川 松次郎
榎本 惣五郎
大河内 要三※
金子 八壽夫
河合 正臣
小林 近蔵

- 小峰 市平
金剛 秀一
佐藤 又蔵
- 柴田 善兵衛
清水 友右エ門
須ヶ間 喜重
関根 才吉※
高橋 米吉※
寺井 存良※
中澤 峯吉
福島 久次

- 松岡 閑造
松本 米吉
松山 莊次郎※

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 公友会
- 鉄心会
- 同志会

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和5年 (1930)
 - 11月1日 市議会議員選挙(定数30名)
- 昭和6年 (1931)
 - 2月 川越市婦人会結成
 - 7月 市立職業紹介所新築
- 昭和7年 (1932)
 - 2月 上海事変を受け、市長・助役らの年俸を削減すると共に議員の県外視察を中止し、その予算を在郷軍人分会補助に回すことを決議
 - 3月5日 川越市下水道起工式が行われる
 - 10月5日 市立図書館(北久保町)開館
 - 10月15日 市制施行10周年祝賀会
 - 11月 失業応急救済事業として欠食及び粗食児童に対し給食を行う
- 昭和9年 (1934)
 - 火葬場事業が市直営となる
 - 6月1日 川越市診療所設置



市立図書館

議員定数 30名 期中所属数 30名(男性30名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

④染谷 清四郎
③新井 平吉
木崎 守長
久米原 脩丈
関澤 節治
②新井 長治
石川 今次郎
市野川 松次郎
大河内 要三

金子 八壽夫
佐藤 又蔵
柴田 善兵衛
清水 友右エ門
関根 才吉
中澤 峯吉
畑尾 源太郎
福島 久次
松岡 圀造
松山 莊次郎
①内田 三七吉

加藤 治作
藤山 勝正
須永 甚太郎
高橋 欣治
田村 源次郎
長島 清次郎
馬場 祐作
樋口 政一
福岡 元吉
水村 常蔵

会派一覧 (50音順)

- 公友会
- 鉄心会
- 同志会

丸数字は当選回数

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和9年 (1934) ● 11月1日 市議会議員選挙(定数30名)
- 昭和10年 (1935) ● 2月1日 川越市診療所事業開始
- 昭和11年 (1936) ● 5月19日 都市計画街路決定を行い都市計画事業を開始
● 6月1日 杉下町に農繁託児所開設
● 9月14日 細菌検査所竣工
- 昭和12年 (1937) ● 7月7日 日中戦争勃発
● 8月 川越将兵後援会が結成される
- 昭和13年 (1938) ● 4月30日 川越防空委員会を設置



杉下町・杉森神社での農繁託児所

議員定数 30名 期中所属数 31名 (男性31名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- | | | | |
|-----------|----------|---------|---------|
| ④ 新井 平吉 ※ | ② 内田 三七吉 | ① 樋口 政一 | 綾部 裕雅 |
| 木崎 守長 | 加藤 治作 | 今村 富六 | 奥村 順平 |
| 久米原 脩丈 | 河合 正一 | 清根 平玉 | 関武 喜平 |
| ③ 新井 長治 | 崎山 勝正 | 武崎 万真 | 對堀 内二 |
| 大河内 要三 | 須井 存良 | 宮沢 庸太郎 | 柴田 善兵衛 |
| 佐藤 又蔵 | 寺島 清次郎 | 横川 是哉 | 清水 友右エ門 |
| | 馬場 祐作 | | |

会派一覧 (50音順)

- 公友会
- 鉄心会
- 同志会

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | |
|-----------------|--|
| 昭和13年
(1938) | ● 11月1日 市議会議員選挙 (定数30名) |
| | ● 11月21日 農地調整法に基づき川越市農地委員会を設置 |
| 昭和14年
(1939) | ● 4月1日 将兵後援会を銃後奉公会に改組 |
| | ● 6月21日 川越市南部・北部両農繁託児所開設 |
| | ● 12月1日 川越市と田面沢村が合併 |
| 昭和15年
(1940) | ● 7月26日 川越市議会、各派議員団体解散を決議 |
| | ● 9月 内務省訓令により町内会を設置 |
| 昭和16年
(1941) | ● 3月20日 大政翼賛会川越支部及び同市常会結成式 |
| | ● 12月8日 太平洋戦争勃発 |
| 昭和17年
(1942) | ● 4月27日 大日本婦人会川越支部が結成される |
| | ● 9月25日 大政翼賛会支部が、市常会を開催し、理想的人物を選出し強力市会を建設するため11月の市議会議員選挙を推薦制によることを決議 |



北部農繁託児所として設けられた真行寺農繁託児所

議員定数 30名 期中所属数 33名 (男性33名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- | | | | |
|----------|---------|--------|-------|
| ⑤久米原 脩 丈 | 伊藤 長三郎 | 嶋田 勝郎 | 山崎 嘉七 |
| 関澤 節 治 | 藤生 實 | 須永 西馬 | 若狭 勝次 |
| ④佐藤 又 蔵 | 今井 要 | 竹内 栄吉 | |
| ③河合 正 臣 | 岩澤 新平 | 田中 多吉 | |
| 馬場 祐 作 | 内田 秀夫 | 沼田 文二 | |
| ②綾部 祐 雅 | 宇津木 高貴 | 橋本 四郎 | |
| 清水 順 平 | 柿田 熾造 | 原 崎 正次 | |
| ①浅田 豊 | 岸 仙 介 | 宮崎 宮丸 | |
| 石山 恵 次 | 木村 卓三 | 宮崎 半三郎 | |
| | 小島 金 次 | 矢島 篤 義 | |
| | 小谷野 章 次 | 柳 沢 | |

会派一覧 (50音順)

※戦時体制のため
 会派は不明

丸数字は当選回数
 ※戦時体制のため
 入れ替え有り

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | | |
|-----------------|---------|--|
| 昭和17年
(1942) | ● 11月1日 | 市議会議員選挙 (翼賛選挙。定数30名) |
| | ● 12月1日 | 市制施行20周年記念祝賀会 |
| 昭和18年
(1943) | ● 9月 | 川越市火葬場が脇田町に新築移転 |
| 昭和20年
(1945) | ● 6月1日 | 株式会社川越食品卸市場を買収し市営とする |
| | ● 8月15日 | 終戦 |
| | ● 11月1日 | 進駐軍に対する措置として約1000名の聴講生を採用し日用英語講習会を開催 |
| 昭和22年
(1947) | ● 4月5日 | 第1回市長選挙が行われ伊藤泰吉氏当選 (昭和21年10月には同氏が旧制度で就任) |
| | ● 4月17日 | 地方自治法制定 |

市長選挙について

■ 第1回市長選挙以前は、市議会で協議の上、市長候補者を推薦し、内務省から許可を得て市長就任という制度をとっていました。伊藤市長は初の公選市長として就任しました。



新築移転された川越市火葬場

議員定数 30名 期中所属数 30名(男性29名・女性1名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑤ 新井 平吉
- ④ 松山 莊次郎
- ③ 金剛 秀一
- 樋口 政一
- ② 伊藤 長三郎
- 須永 西馬
- 橋本 四郎
- ① 飯野 昌八
- 石川 秀夫

- 馳川 恒太朗
- 勝田 作造
- 加藤 熊次郎
- 加畑 啓三
- 上村 重雄
- 神山 義男
- 熊井 庄太郎
- 小山 米三
- 佐々木 文蔵
- 鹿倉 忠雄
- 渋井 慶次郎

- 鈴木 聰子
- 鈴木 勇作
- 高橋 庫吉
- 武定 雄
- 中村 覚之助
- 西川 卯八
- 原田 萬次郎
- 松本 徳太郎
- 森田 甚太郎
- 山本 嘉久造

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 愛市同盟
- 社会党
- 自由党

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和22年 (1947)
 - 4月30日 市議会議員選挙(定数30名)。第1回地方統一選挙。川越市議会初の女性議員1名当選
- 昭和23年 (1948)
 - 3月 自治体消防発足
 - 7月24日 埼玉県アメリカ軍政部司令官ヘイワード中佐らが来川、市議会議事堂で演説を行う
- 昭和24年 (1949)
 - 10月1日 川越市国民健康保険事業開始
- 昭和25年 (1950)
 - 1月6日 失業対策事業として初雁市営グラウンド整備工事を開始
 - 4月15日 公職選挙法制定
 - 6月26日 市営第1回競輪開催
 - 12月13日 地方公務員法制定

第6期の終期と第7期の始期が重なる訳

■ 昭和22年4月30日に行われた市議会議員選挙は日本国憲法体制のもとで行われた初の選挙であり、同日に任期が開始されました。



整備された初雁市営グラウンド

議員定数 36名 期中所属数 36名(男性34名・女性2名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑤松山 莊次郎
- ④大河内 要三
金剛 秀一
樋口 政一
- ③須永 西馬
- ②飯野 昌八
勝田 作造
上村 重雄
小谷野 章次

- 鹿倉 忠雄
鈴木 勇作
中村 覚之助
- 西川 卯八
宮沢 庸太郎
山本 嘉久造
- ①池田 勇吉
- 石川 梅
石川 新平
板倉 敏尾
井上 歌吉

- 小澤 一作
加藤 唯四郎
- 川合 喜一
久津間 正蔵
栗原 定一
桜井 理助
- 佐藤 仲治郎
末延 春江
鈴木 弘一
高橋 俊太郎
但木 敬吾

- 田邊 武宗
谷 泉
- 馬場 福太郎
宮倉 一太郎
山田 一郎

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 愛市同盟
- 市政倶楽部、
第一議員倶楽部
→公政クラブ
- 社会党

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和26年 (1951)
 - 4月23日 市議会議員選挙(第8期より定数36名)
 - 8月1日 市営プールオープン
- 昭和27年 (1952)
 - 6月3日 初雁球場が完成し市主催で巨人対松竹戦行われる
 - 10月13日 市制施行30周年記念式典
 - 11月1日 川越市教育委員会発足
- 昭和28年 (1953)
 - 10月4日 中央公民館落成
- 昭和29年 (1954)
 - 2月13日 川越市町村合併促進委員会が理事者、議決機関の両者一体で発足
- 昭和30年 (1955)
 - 1月29日 川越市と隣接8か村(除く大東村)で合併の議決
 - 3月17日 川越市と大東村で合併の議決
 - 4月1日 川越市と隣接9か村の合併記念式挙行



市営プール



中央公民館

議員定数 36名 期中所属数 37名 (男性37名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑥ 松山 莊次郎
- ⑤ 樋口 政一
- ③ 小谷野 章次
- 鹿倉 忠雄
- 中村 覚之助
- ② 池田 勇吉
- 加藤 唯四郎
- 神山 義男
- 川合 喜一

- 但木 敬吾
- ① 石井 久吾
- 石井 弘平
- 石井 正典
- 石川 弥左衛門*
- 井上 彦二郎
- 井上 万平
- 岩田 仙太郎
- 大野 政亀
- 小野 正一
- 金子 良雄

- 神田 禧一
- 岸野 們太郎
- 坂本 光雄
- 櫻井 角太郎
- 鈴木 泰平
- 関口 武一
- 関根 房吉
- 滝嶋 徳重
- 田中 正己
- 中村 源次
- 西島 武夫

- 橋本 栄一
- 松本 直吉
- 水村 三郎
- 安田 健二郎
- 山田 育治郎
- 山畑 光太郎

会派一覧 (50音順)

- 火曜会、九日倶楽部 → 九日火曜会
- 社会党
- 自由党

丸数字は当選回数
*補欠選挙当選者



川越市議会報第1号

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和30年 (1955)
 - 4月30日 市議会議員選挙(定数36名)。市・村合併後、最初の市議会議員選挙。この回のみ合併協定により旧市域は19名、旧村部は各2名(山田地区のみ1名)を定数とする小選挙区制で行われる
- 昭和31年 (1956)
 - 10月1日 川越市議会定例会条例施行
- 昭和32年 (1957)
 - 3月22日 昭和30年度決算特別委員会を設置。以降、平成20年度決算特別委員会まで毎年度設置
 - 12月21日 川越市塵芥焼却場(鹿飼)の設置を可決。翌年9月運転開始
- 昭和33年 (1958)
 - 10月9日 川越市土木行政等調査特別委員会を設置(10名/昭和34.3.12調査終了)
- 昭和34年 (1959)
 - 2月10日 「川越市議会報」発刊(現「議会だより」)
 - 3月18日 川越市新市建設計画策定を可決(基本計画、実施計画)

町村合併による請願の増加

■ 本市は町村合併促進法に基づき昭和30年に隣接9か村との合併を行いました。人口の増大は都市化を更に進展させ、新しい社会的需要を生み出すこととなり、市民の要求が請願という形で現れました。

議員定数 36名 期中所属数 36名(男性36名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑦松山 莊次郎
- ⑥樋口 政一
- ④中村 覚之助
- ③池田 勇吉
- 勝田 作造
- 加藤 唯四郎
- 神山 義男
- 川合 喜一
- ②石井 正典

- 石川 新平
- 石川 弥左衛門
- 井上 彦二郎
- 井上 万平
- 金子 良雄
- 神田 禧一
- 栗原 定一
- 小山 米三
- 坂本 光雄
- 櫻井 角太郎
- 鈴木 弘一

- 関口 武一
- 西島 武夫
- 橋本 栄一
- 安田 健二郎
- ①市ノ川 清八
- 岩崎 芳郎
- 荻島 子之吉
- 金井 二郎
- 小林 玉之助
- 清水 正平
- 須賀 幸作

- 関根 初治
- 根坂 藤八
- 長坂 智公
- 発智 喜美雄
- 水村 道隆
- 山本

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 市政会
→月曜会<S36.5変更>
- 新正会
- 新和会
- 清和会
- 第一議員倶楽部

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和34年 (1959)
 - 4月30日 市議会議員選挙(定数36名)
 - 11月20日 早朝の市立大東中学校出火による校舎一棟全焼を受け、同日午後1時より緊急全員協議会を開催し、現地視察を実施
 - 12月25日 9月に発生した台風15号(伊勢湾台風)の甚大な被害を受け、昭和34年度補正予算可決
 - 12月26日 川越市観光協会発足
- 昭和35年 (1960)
 - 6月23日 川越市議会運営委員会を設置(12名)
 - 8月1日 第1回川越百万灯ちょうちんまつり開催
 - 9月30日 昭和36、37年度に全国的に中学生急増の予想を受け、中学校の校舎不足解消のため、市立中学校増築に対する予算外義務負担についてを可決
- 昭和36年 (1961)
 - 7月1日 川越市水防団条例を可決し、全市一本による川越市水防団結成
- 昭和37年 (1962)
 - 10月13日 市制施行40周年式典
- 昭和38年 (1963)
 - 2月 市制40周年の記念事業として市史編纂委員6名を委嘱し編纂事業を開始



昭和36年7月22日第1回水防演習が行われた

議員定数 36名 期中所属数 37名(男性37名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑧ 松山 莊次郎
- ⑦ 樋口 政一
- ④ 勝田 作造
加藤 唯四郎
神山 義男※
川合 喜一
- ③ 石井 正典
石川 新平
石川 弥左衛門

- 井上 彦二郎
井上 万平
金子 良雄
神田 禧一
栗原 定一
小山 米三
坂本 光雄
櫻井 角太郎
鈴木 弘一
安田 健二郎
- ② 市ノ川 清八

- 金須 二郎
井賀 幸作
関根 初治
長坂 藤八
中村 源次
山本 道隆
① 小沢 善作
木村 豊太郎
栗原 清三
後閑 芳雄
白石 伍郎

- 富田 雅次
根岸 春吉
幡 宥秀
間仁田 春二
丸太 幸七
宮根 光次郎

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 公明会
→ 公明党
- 市政会
- 自民党議員クラブ
- 新風会
- 青雲会

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和38年 (1963)
 - 4月30日 市議会議員選挙(定数36名)
 - 10月5日 川越市初の交通自動信号機が、連雀町の交差点に設置
- 昭和39年 (1964)
 - 4月1日 市立養護学校(宮下町・現市立特別支援学校)開校
 - 12月17日 市の境界変更に関する特別委員会を設置(12名/昭和40.2.5調査終了)
- 昭和40年 (1965)
 - 8月2日 市長急逝に伴い、急施臨時会を開催し、川越市名誉市民条例を可決。川越市名誉市民の称号の追贈について同意し、故伊藤泰吉市長が名誉市民第1号に
 - 8月9日 故伊藤泰吉市長の市葬が市民会館で挙行
- 昭和41年 (1966)
 - 9月29日 台風26号により、本市で初めて災害救助法が適用される。教育関係の施設に対する被害の災害復旧費等の補正予算を可決
 - 10月1日 川越市議会委員会条例、川越市議会会議規則施行
 - 10月31日 市民体育館完成



昭和40年第4回定例会を傍聴する婦人学級の生徒たち

議員定数 36名 期中所属数 37名(男性37名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑤ 勝田 作造
- 川合 喜一
- ④ 石井 正典
- 石川 新平
- 栗原 定一
- 小山 米三
- 坂本 光雄
- 安田 健二郎
- ③ 金井 二郎

- 関根 初治
- 中村 源次
- ② 山本 道隆
- 小沢 善作
- 木村 豊太郎
- 栗原 清三
- 後閑 芳雄
- 清水 正平
- 白石 伍郎
- 武定 雄次
- 富田 雅次

- 根岸 春吉
- 間仁田 春二
- ① 天沼 半右エ門
- 新井 習一
- 伊藤 宗一
- 岩崎 靖夫
- 大泉 清三
- 小金井 正介
- 鈴木 啓吉
- 関根 永正
- 戸田 正雄

- 中村 光男
- 新山 昌司
- 深田 綱三
- 三吉 八郎
- 安田 勤之助
- 山根 伸*

丸数字は当選回数
*補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員クラブ
- 社会党議員団
- 自民党議員クラブ
- 無所属議員クラブ

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和42年 (1967)
 - 4月28日 市議会議員選挙(定数36名)
 - 10月23日 埼玉国体「バレーボール」「軟式野球」開催(10月23日～26日)
- 昭和43年 (1968)
 - 7月26日 市内16の全小学校でプール完成
 - 8月5日 市内平塚橋において開催された水防演習に議員多数参加
- 昭和44年 (1969)
 - 8月23日 第一給食センター(今成)完成
 - 9月1日 中央公民館完成
 - 10月27日 川越少年刑務所(南大塚)完成
- 昭和45年 (1970)
 - 6月1日 婦人会館(脇田新町)開館
 - 9月22日 昭和44年度水道決算特別委員会を設置。以降、平成5年度決算特別委員会まで毎年度設置
 - 12月19日 川越市庁舎建設委員会条例を可決



完成した霞ヶ関小・中学校の共用プール

議員定数 40名 期中所属数 40名(男性40名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑥川合喜一
- ⑤石川新平
- 栗原定一
- 安田健二郎
- ④金井二郎
- 中村源次
- ③小沢善作
- 木村豊太郎
- 後閑芳雄

- 清水正平
- 武定雄
- 根岸春吉
- 間仁田春二
- ②天沼半右エ門
- 新井習一
- 伊藤宗一
- 岩崎靖夫
- 大泉清
- 小金井正三
- 関根永吉

- 戸田正雄
- 中村光男
- 新山昌司
- 深田綱三
- 安田勤之助
- ①伊藤義郎
- 犬竹正雄
- 宇津木克雄
- 宇津木清蔵
- 菊地実
- 中里甲子寿

- 中野清
- 原田清夫
- 水口和次
- 水村高栄
- 森田栄
- 矢部正左衛門
- 山口登
- 山田貞男
- 山村健仁

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員クラブ
- 社会党議員団
- 自民党議員クラブ
- 日本共産党議員団
- 無所属議員クラブ
- 市民クラブ
- <S46.10変更>

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和46年 (1971)
 - 4月25日 市議会議員選挙(地方自治法の規定により定数40名)
 - 6月9日 川越市役所の位置を定める条例を可決し、新市庁舎建設地決定
 - 12月10日 川越市と福島県棚倉町との友好都市締結について可決し、昭和47年1月18日締結
- 昭和47年 (1972)
 - 4月 川越市総合振興計画(現川越市総合計画)スタート(昭和47年度～60年度)
 - 10月2日 新市庁舎(現在の市役所本庁舎)が完成。第5回定例会(10月11日)より新市庁舎で議会が行われる
 - 12月1日 市制施行50周年記念式典
- 昭和48年 (1973)
 - 1月17日 障害児通園合同施設あけぼの児童園開園
 - 11月1日 国民健康保険川越市立診療所条例を可決し、川越診療所及び芳野診療所を廃止統合。川越市立診療所(小仙波)開所
 - 11月1日 交通対策特別委員会を設置(25名/昭和50.3.6調査終了)
 - 12月22日 インフレ、物価高騰、品不足に対して市民生活を守る決議を可決
- 昭和49年 (1974)
 - 10月11日 川越駅東口市街地再開発事業が都市計画決定



旧市庁舎(手前)と建設中の新市庁舎(奥)

議員定数 40名 期中所属数 41名(男性41名・女性0名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

⑥石川新平
④木村豊太郎
後閑芳雄
間仁田春二
③天沼半右衛門
新井習一
伊藤宗靖
岩崎正夫
大泉正三
小金井正雄
戸田正雄

新安田昌司
②伊藤勤之助
宇津木義郎
佐藤克雄
中野仲治郎
中原甲子寿
水口清夫
森村和高次
矢部正栄
山口左衛門
山口登

①山田仁雄
村沼健照
上光
島和
川芳
田宗
小甚
忍小島須高
小島須高
高田高
中村永橋
村永橋
島村初嘉
孝

細野浩平
増田利夫
水口和昭
村田昭
平夫
夫寿

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員クラブ
- 社会党議員団
- 清和クラブ
- 日本共産党議員団

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | | |
|-----------------|---------|---|
| 昭和50年
(1975) | ● 4月27日 | 市議会議員選挙(定数40名) |
| | ● 7月1日 | 川越市海の家(千葉県蓮沼村)開設 |
| 昭和51年
(1976) | ● 3月18日 | 交通対策特別委員会、医療問題特別委員会を設置(各18名/昭和54.3.1調査終了) |
| | ● 6月2日 | 市営火葬場使用開始。10月、名称を川越市斎場と決定 |
| | ● 9月10日 | 中小企業対策特別委員会を設置(18名/昭和54.3.1調査終了) |
| 昭和53年
(1978) | ● 9月28日 | 仮称川越市老人福祉センター(現西後楽会館)新築工事請負契約を可決 |
| | ● 10月1日 | 西清掃センター開設 |
| 昭和54年
(1979) | ● 3月23日 | 川越市と鶴ヶ島町との境界変更を可決(川鶴団地造成に伴う変更) |



昭和54年6月完成を目指す老人福祉センター

議員定数 44名 期中所属数 46名 (男性45名・女性1名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑦ 石川 新平
- ⑤ 木村 豊太郎
- ④ 間仁田 春二
- ④ 新井 習一
- 岩崎 靖夫
- 戸田 正雄
- 安田 勤之助
- ③ 伊藤 義郎
- 宇津木 克雄
- 中里 甲子寿
- 水口 和夫

- 森田 栄
- 矢部 正左衛門
- 山口 健登
- ② 天沼 照和
- 岡島 芳夫
- 小忍 田甚
- 小菊 地村
- 島村 権富
- 須永 橋初
- 高橋 男

- 田中 嘉
- ① 細野 孝平
- 増田 浩利
- 村田 昭夫
- 井上 精音
- 井窪 俊太郎
- 牛上 永恵
- 江津 勝五郎
- 帯藤 田康
- 佐藤 橋
- 沢高

- 仲永 嘉
- 藤孝 平
- 堀倉 浩平
- 堀矢 利夫
- 山山 昭勇
- 山之 精一次
- 吉内 俊太郎
- 野野 恵士

- 輔一 孝
- 郎善 太
- 博義 義
- 操代 かつ
- 治隆 陽
- 樹陽 辰
- 雄雄

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 市民クラブ
- 社会党議員団
- 新政会
- 清和クラブ
- 日本共産党議員団

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和54年 (1979)
 - 4月22日 市議会議員選挙 (地方自治法の規定により議員定数44名)
 - 7月1日 休日急患診療所開設
 - 7月10日 西後楽会館オープン
- 昭和56年 (1981)
 - 2月10日 図書室委員会設置
- 昭和57年 (1982)
 - 10月2日 川越市と福井県小浜市との姉妹都市締結を可決し、11月30日締結
 - 11月9日 11月9日、12日の2日間、市内の小中学生の代表を集め、子ども議会が開かれた
 - 11月25日 市民憲章および市民の日 (12月1日) 条例を可決
 - 12月1日 市制施行60周年記念式典
- 昭和58年 (1983)
 - 4月1日 第一次川越市総合計画スタート (昭和58年度～平成7年度)
 - 4月2日 川越市とドイツ・オッフエンバッハ市との姉妹都市盟約締結を可決



子ども議会開会

議会の紛糾について

■ 議会は紛糾により審議が深夜まで続いたり、会期延長や自然閉会、流会になることがあります。第15期中は議員の汚職事件や、収入役にかかる不祥事件が発生したことで、複数回の会期延長や自然閉会、流会がありました。

議員定数 44名 期中所属数 44名(男性42名・女性2名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑥ 間仁田 春 二夫
- ⑤ 岩崎 田 靖 夫
- 安田 勤 之助
- ④ 伊藤 義 郎
- 宇津木 克 雄
- 水口 和 夫
- 森田 登 仁
- 山村 健 雄
- ③ 天沼 照 雄

- 岡小 忍 菊 島 須 田 中 中 細 増 水
- ② 井 上
- 島川 田 地 村 永 島 村 野 田 村 上
- 和 芳 宗 権 富 嘉 孝 光 浩 利 高
- 夫 雄 和 実 治 男 平 治 男 平 夫 次 勇

- 井 江 帶 佐 沢 高 永 藤 矢 山 山 山 之内 川
- ① 石 川
- 上 田 津 藤 田 橋 堀 倉 部 下 根
- 精 俊 永 太 郎 士 五 郎 博 一 郎 操 代 治 樹 良 三 郎

- 犬 小 杉 福 松 真 仁 守 屋
- 竹 山 山 田 岡 田 屋
- 和 普 英 昭 秀 裕
- 重 一 夫 平 仁 啓 子

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 市民クラブ
- 社会党議員団
- 清友会
- 日本共産党議員団

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和58年 (1983)
 - 4月24日 市議会議員選挙(定数44名)
 - 8月24日 オフエンバッハ市との姉妹都市盟約締結のため島村議長を派遣
- 昭和59年 (1984)
 - 3月 ひかり児童園、あけぼの児童園合同園舎完成
 - 3月28日 川越市名誉市民の称号の追贈等について同意し、名誉市民の称号を故加藤瀧二氏、山崎嘉七氏に贈ることを決定
 - 10月31日 市立図書館(現中央図書館)開館
- 昭和60年 (1985)
 - 3月27日 住民情報オンライン化をはかるための大型電子計算機導入等に伴い、庁舎別棟新築工事請負契約を可決
- 昭和61年 (1986)
 - 4月14日 川越市とアメリカ・セーレム市との姉妹都市盟約締結を可決。8月に姉妹都市盟約締結のため小川議長をセーレム市へ派遣
 - 9月29日 昭和62年1月から電子計算機によるオンライン処理が稼動することに伴い、川越市電子計算組織に係る個人情報の保護に関する条例を可決
 - 9月29日 市議会議員選挙について2条例を可決(川越市選挙ポスター掲示場条例の一部を改正、川越市選挙公報発行条例の一部を改正)
 - 11月1日 東清掃センター開設



オフエンバッハ市で行われた調印式
(左から島村議長、ジュールマン市長、川合市長、クナップ議長)



セーレム市で行われた調印式
(左からカーニー議長、ミラー市長、川合市長、小川議長)

議員定数 44名 期中所属数 44名 (男性42名・女性2名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑦ 間仁田 春 二
- ⑥ 戸田 正 雄
- 安田 勤之助
- ⑤ 伊藤 義 郎
- 水口 和 夫
- 森田 栄 登
- 山口 登 雄
- ④ 天沼 照 雄
- 岡 島 和 夫
- 小 川 芳 雄

- 忍 田 宗 和
- 菊 地 実 治
- 中 村 孝 治
- 中 村 光 男
- 増 田 利 夫
- 水 村 高 次
- ③ 井 上 勇 一
- 井 上 精 一
- 江 田 俊 雄
- 帶 津 永 太 郎
- 佐 藤 恵 士
- 沢 田 勝 五 郎

- 高 橋 康 博
- 永 堀 善 一
- 藤 倉 太 郎
- 矢 部 操
- 山 下 かつ代
- 山 根 隆 治
- 山之内 陽 樹
- ② 石 川 良 三 郎
- 犬 竹 和 重
- 小 山 晋 一
- 仲 孝 輔
- 福 田 昭 平

- 松 岡 秀 仁
- 真 仁 田 喜 一
- ① 新 井 喜 一
- 大河内 術 賢
- 吉 敷 原 一 弘
- 栗 原 木 隆 実
- 斉 谷 千 代
- 洪 嶋 秀 久
- 中 原 秀 久

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 社会党議員団
- 清友会
- 日本共産党議員団
- 民社クラブ
- 無所属・市民クラブ

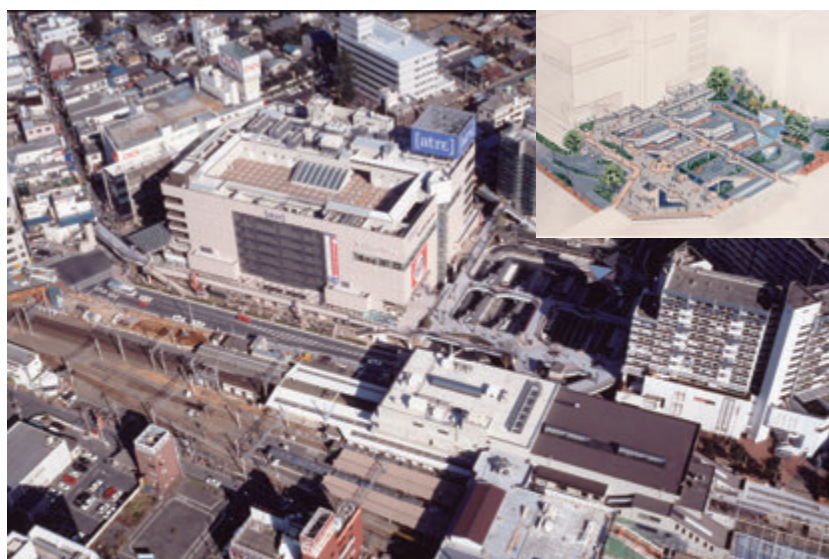
❖ 川越市議会・社会の出来事

- 昭和62年 (1987)
 - 4月26日 市議会議員選挙(定数44名)
 - 10月1日 市内11農協が合併し、川越市農協発足
 - 10月1日 仮称西ブロックセンター新築工事請負契約を可決。昭和63年11月西文化会館オープン
 - 10月28日 川越駅東口再開発ビルの管理・運営に当たる川越都市開発株式会社設立
 - 12月24日 仮称川越駅東口再開発ビル新築工事請負契約を可決。平成2年5月アトレオープン。南連絡所移転
- 昭和63年 (1988)
 - 2月9日 仮称川越市立博物館新築工事請負契約を可決
 - 7月4日 仮称川鶴公民館新築工事請負契約を可決。平成元年4月川鶴連絡所、5月川鶴公民館オープン
 - 7月4日 川越駅東口公共地下駐車場新築工事請負契約を可決
 - 12月1日 初の川越市民栄誉章を田部井淳子氏・牛窪多喜男氏が受章
 - 12月23日 川越市都市景観条例を可決



完成した川越市立博物館

- 昭和64年 ● 1月1日 NHK大河ドラマ「春日局」放送開始
- 平成元年 ● 1月8日 平成に改元
- (1989) ● 4月1日 消費税導入
- 4月4日 小畔の里 クリーンセンター(最終処分場)が運転を開始
- 6月23日 川越駅東口駅前交通広場(嵩上式)築造工事請負契約を可決(※嵩上式広場「ペDESTリアン(歩行者)デッキ」の工事)
- 10月3日 川越市農業ふれあいセンター条例を可決。平成元年12月1日開館
- 10月3日 川越市立博物館条例を可決。平成2年3月1日開館
- 10月3日 川越市防災行政無線(固定系)放送施設設置工事請負契約を可決。平成2年6月、防災行政無線放送開始
- 12月22日 土曜閉庁方式を導入するため、川越市の休日を定める条例を可決。平成2年4月から第2・第4土曜日が閉庁に
- 平成2年 ● 3月1日 本丸御殿に家老詰所復元移築、公開
- (1990) ● 3月26日 川越市生活情報センター条例を可決し、川越駅東口再開発ビル(アトレ)内に生活に関する的確な情報の提供を行うセンターの設置を決定
- 3月26日 川越駅東口公共地下駐車場条例を可決
- 3月26日 川越駅東口駅前交通広場(地表式)築造工事請負契約を可決
- 5月12日 第1回小江戸花火大会開催
- 5月31日 人口30万人突破
- 6月27日 川越市立川越西中学校増築工事請負契約を可決し、コンピュータ室に、パーソナルコンピュータを設置。川越西中学校がモデル校となり、他中学校への設置も予定
- 12月3日 仮称県西部地域産業文化センターの建設予定地が川越市に決定
- 平成3年 ● 1月14日 川越市議会の議員の定数を減少する条例を可決(平成3年4月の選挙から定数を44名から40名へ削減)
- (1991) ● 3月31日 川越駅東口再開発事業終了



川越駅東口再開発区域



復元移築された県指定有形文化財の家老詰所



農業ふれあいセンター

議員定数 40名 期中所属数 40名(男性37名・女性3名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

⑦安田 勤之助
⑥伊藤 義郎
水口 和夫
⑤岡島 和夫
忍田 宗和
菊地 実治
中村 孝治
中村 光男
増田 利夫
山村 健仁

④井上 勇
井上 精一
江田 俊雄
帯津 永太郎
佐藤 恵士
沢田 勝五郎
高橋 康博
永堀 善一
矢部 操
山下 かつ代
山根 隆治
③石川 良三郎

犬竹 和重
小山 晋一
仲孝 輔平
福田 昭秀
松岡 秀仁
真仁田 啓一
②新井 喜一
大河内 衝賢
吉敷 賢一
栗原 隆弘
斉木 隆実
渋谷 実

中嶋 千代
中原 秀久
①石川 隆二
久保 啓一
桑山 静子
本山 修一

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 社会党議員団
- 清友会
- 日本共産党川越市議会議員団
- 平成会
- 民社クラブ
- 無所属市民派

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 平成3年 (1991)
- 4月21日 市議会議員選挙(定数40名)
 - 5月20日 川越市議会委員会条例を一部改正。議員定数を40名に減員したことに伴い、常任委員定数変更
 - 7月13日 川越運動公園陸上競技場トラック及びフィールド新設工事請負契約を可決。平成4年10月オープン
 - 8月30日 第三セクター川越総合卸売市場株式会社設立
 - 9月5日 西武新宿線本川越駅ビル完成。本川越駅証明センターオープン
 - 9月27日 産業文化センター建設にかかわる川越駅西口周辺整備対策特別委員会を設置(10名/平成7.2.28調査終了)
 - 9月28日 西清掃センター煙突改修工事請負契約を可決
 - 12月1日 川越ケーブルビジョン(KCV)開局
 - 12月24日 市庁舎問題特別委員会を設置(10名/平成6.9.6調査終了)



西清掃センター(平成22年3月稼働停止)



やまぶき会館

- | | |
|----------------|--|
| 平成4年
(1992) | <ul style="list-style-type: none"> ● 3月30日 地域産業文化センター建設について県知事あてに意見を提出 ● 4月1日 かわごえ友愛センター開設(社会福祉協議会内) ● 4月29日 第1回小江戸マラソン開催 ● 6月1日 やまぶき会館オープン ● 9月12日 学校週5日制度スタート ● 9月29日 仮称南ブロックセンター新築工事請負契約を可決。平成6年5月南文化会館(ジョイフル)オープン ● 9月29日 川越運動公園体育館建設工事委託契約を可決。平成7年4月川越運動公園総合体育館オープン ● 12月1日 市制施行70周年記念式典 ● 12月22日 川越市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び川越市の休日を定める条例の一部改正を可決。平成5年4月から全土曜日が閉庁に |
| 平成5年
(1993) | <ul style="list-style-type: none"> ● 6月1日 川越市リサイクルセンター稼働開始 ● 7月5日 川越西郵便局オープン ● 9月28日 仮称川越市総合福祉センター新築工事請負契約を可決 |
| 平成6年
(1994) | <ul style="list-style-type: none"> ● 3月31日 鐘つき通り電線地中化 ● 5月30日 埼玉川越総合地方卸売市場が営業開始 ● 7月1日 川越親水公園完成 ● 8月9日 時の鐘再建100周年 ● 12月22日 川越市議会委員会条例を一部改正。議会運営委員会の法制化に関する規定を新設(定数10名、任期1年) |
| 平成7年
(1995) | <ul style="list-style-type: none"> ● 1月20日 阪神・淡路大震災による被害に対し義援金を贈る ● 3月20日 地下鉄サリン事件 |



川越運動公園総合体育館



川越運動公園陸上競技場



電線地中化した鐘つき通り



川越親水公園

議員定数 40名 期中所属数 40名(男性36名・女性4名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑧ 安田 勤之助
- ⑦ 伊藤 義郎
- ⑥ 岡島 和夫
- 菊地 実
- 中村 孝治
- 中村 光男
- 増田 利夫
- 山村 健仁
- ⑤ 井上 勇
- 江田 俊雄

- 佐藤 恵士
- 藤田 勝五郎
- 高橋 康博
- 山下 かつ代
- ④ 石川 良三郎
- 小山 晋一
- 仲孝 輔
- 福田 昭平
- 松岡 秀仁
- ③ 新井 喜一
- 大河内 衍
- 吉敷 賢

- 栗原 賢一
- 斉木 隆弘
- 渋谷 実代
- 中嶋 千代久
- 中原 秀久
- 石川 隆二
- 久保 啓一
- 桑山 静一
- ① 岩崎 哲也
- 江田 肇
- 大野 慶治

- 大室 圭史
- 加藤 昇
- 小林 薫
- 清水 京子
- 伝農 泰治
- 山 肇

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 啓政会
- 公明議員団
→公明党議員団
<H10.11変更>
- 市民クラブ
→無所属市民クラブ
<H8.5変更>
- 日本共産党川越市議会議員団
- 日本社会党・護憲連合市議団
→社会民主党
・護憲連合市議団
<H8.4変更>
→社会民主党市議団
<H9.2変更>
- プロジェクト川越21

❖ 川越市議会・社会の出来事

平成7年
(1995)

- 4月23日 市議会議員選挙(定数40名)
- 6月27日 オウム真理教事件の全容徹底的究明と宗教法人解散を求める意見書を可決
- 6月27日 川越運動公園テニスコート建設工事請負契約を可決
- 7月1日 川越市総合福祉センターオープン
- 9月1日 パスポートセンター川越支所オープン
- 9月22日 交通死亡事故抑止決議を可決
- 9月22日 少年を守るクリーン川越づくり決議を可決
- 9月22日 防災用品の取得2件を可決。1月17日に発生した兵庫県南部地震による大地震を教訓にし、市民の防災意識を啓発するために市内全世帯に防災用品の配布を決定。平成8年1月、防災用品セット全戸配布
- 12月22日 米軍人による女子小学生暴行傷害事件に関する意見書を可決

平成8年
(1996)

- 3月21日 住宅金融専門会社の不良債権処理に関する意見書を可決
- 3月21日 地方分権の実現に関する意見書を可決
- 3月21日 川越市名誉市民の称号の贈与について同意し、名誉市民の称号を川合喜一氏、洋画家・相原茂吉氏へ贈ることを決定
- 3月26日 首都圏中央連絡自動車道一部開通(青梅IC-鶴ヶ島JCT)

- 平成8年 (1996)
- 3月26日 川越シャトル運行開始
 - 4月 第二次川越市総合計画スタート(平成8年度～17年度)
 - 4月1日 川越運動公園テニスコートオープン
 - 6月5日 時の鐘が「残したい日本の音風景100選」に選ばれる
 - 10月1日 市がインターネットホームページ開設
 - 12月20日 あさひ銀行川越支店が県内第1号の登録有形文化財となる
 - 12月25日 仮称川越市葬祭会館用地の取得を可決
- 平成9年 (1997)
- 3月19日 動燃事故原因の徹底究明と安全対策の総点検など再発防止を求める意見書を可決
 - 3月19日 仮称川越市総合保健センター新築工事請負契約を可決。平成11年4月総合保健センターオープン
 - 5月 クレアモールの電線類地中化一部完成
 - 6月25日 郵政3事業の現行経営形態の堅持についての請願書を採択
 - 6月25日 遺伝子組み換え食品の表示義務の早期実施の意見書を国に提出するよう求める請願書を採択
 - 6月25日 廃棄物焼却施設によるダイオキシン汚染問題と環境汚染実態調査並びに今後の対策についての請願書を採択
 - 7月22日 市で行っている節電により節約された経費の一部を有効活用するため、住宅用太陽光発電システムを設置する場合の補助を開始
 - 8月1日 川越市オンブズマン制度スタート
 - 8月20日 上江橋完成(当時河川橋梁では日本最長)
 - 10月17日 第2回小江戸サミット 川越大会開催
 - 12月24日 岸町3丁目市営住宅新築工事請負契約を可決
- 平成10年 (1998)
- 3月 川越市環境基本計画、緑の基本計画策定
 - 6月23日 伝統的建造物群保存地区保存条例を可決
 - 8月4日 小江戸大相撲川越場所開催
 - 10月1日 8月に発生した集中豪雨災害(激甚災害)を受け、応急水害対策及び災害救助等に要した経費に予備費を充てたため、予備費を追加する一般会計補正予算を可決
 - 10月26日 姉妹都市提携15周年記念式典に参加するため、ドイツ・オッフエンバッハ市に中村孝治議長を派遣
- 平成11年 (1999)
- 3月16日 業務核都市に指定される
 - 3月19日 国指定史跡河越館跡土地の取得を可決
 - 3月19日 仮称新清掃センター用地の取得を可決
 - 4月9日 一番街周辺が伝統的建造物群保存地区として都市計画決定される



市内循環バス「川越シャトル」が運行開始



江戸文化を継承し、「小江戸」と呼ばれる千葉県香取市、栃木県栃木市、川越市が集まり、まちづくりについて考える小江戸サミット



完成した総合福祉センター



登録有形文化財県内第1号となった、あさひ銀行川越支店

議員定数 40名 期中所属数 40名(男性36名・女性4名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑨ 安田 勤之助
- ⑧ 伊藤 義郎
- ⑦ 菊地 実治
- 中村 孝治
- 中山 健仁
- ⑥ 江田 俊雄
- 佐藤 恵士
- 高橋 康博
- ⑤ 石川 良三郎
- 松岡 秀仁

- ④ 新井 喜一
- 大河内 一
- 吉敷 賢一
- 栗原 賢一
- 斉木 隆弘
- 渋谷 実代
- 中嶋 千代
- ③ 石川 隆二
- 久保 啓一
- 桑山 修一
- ② 岩崎 哲也

- 江田 肇
- 大野 慶治
- 大室 圭史
- 加藤 昇
- 小林 薫
- 清水 京子
- 伝農 泰治
- 山口 肇
- ① 新井 金作
- 石井 成人
- 稲浦 敏雄
- 牛窪 多喜男

- 荻窪 一郎
- 倉嶋 美恵子
- 原島 明
- 松井 釜太郎
- 山口 智也
- 吉田 光雄

会派一覧 (50音順)

- 啓政会
- 公明党議員団
- 市民クラブ
- 日本共産党川越市議会議員団
- プロジェクト川越21

丸数字は当選回数

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 平成11年 (1999)
 - 4月25日 市議会議員選挙(定数40名)
 - 6月12日 クレアモールのモール化事業完成
 - 8月14日 集中豪雨により、市内約700世帯が床上・床下浸水被害
 - 9月1日 川越市議会傍聴規則施行
 - 10月14日 一番街の町並みがグッドデザイン賞受賞
 - 11月11日 県内市町村で初めて国際環境規格ISO14001認証取得
 - 12月1日 一番街が重要伝統的建造物群保存地区(国)に選定される
 - 12月24日 川越市議会議員定数条例を可決(平成15年4月の選挙から定数40名。地方自治法の一部改正により、定数を条例で定めることに。川越市議会の議員の定数を減少する条例は廃止)

中核市移行について

■平成11年7月8日、地方分権一括法の成立に伴う地方自治法の改正により、中核市要件の一つである昼夜間人口比率要件が廃止され、川越市は中核市の要件を備えることになりました。川越市議会では平成14年5月に中核市の指定に係る申出について可決、同年12月に移行に伴う関係条例17件を可決し、人口30万人以上、面積100km²以上の川越市は、平成15年4月1日、全国で31番目、関東で3番目、埼玉県で初の中核市に移行しました。

- 平成12年 (2000)
- 2月16日 市内の建物4棟を初めて「都市景観重要建築物」に指定
 - 3月 都市計画マスタープラン策定
 - 7月1日 市民聖苑やすらぎのさとオープン
 - 9月27日 仮称仙波河岸史跡公園用地の取得を可決
 - 10月4日 一番街の町並みとその周辺地区が都市景観大賞「都市景観百選」に選定される
 - 12月21日 仮称川越駅東口図書館分館等複合施設新築工事請負契約を可決。平成14年7月クラッセ川越オープン
- 平成13年 (2001)
- 3月21日 川越市議会政務調査費交付条例を制定
 - 6月26日 育児・介護休業法の改正と保育施策の拡充を求める意見書を可決
 - 6月26日 仮称川越市立美術館新築工事請負契約を可決。平成14年12月オープン
 - 9月25日 仮称お祭り会館新築工事請負契約を可決
 - 9月25日 仮称北部地域ふれあいセンター新築工事請負契約を可決。平成14年12月オープン
 - 11月12日 菓子屋横丁が「かおり風景100選」(環境省)に認定される
 - 12月20日 環境対策特別委員会を設置(12名/平成15.2.24調査終了)
- 平成14年 (2002)
- 2月26日 市民に開かれた議会を目指す試みとして、本会議の開会前に初の議場コンサートを実施。東邦音楽大学による演奏
 - 4月1日 川越市議会海外視察研修派遣要綱施行
 - 4月 西図書館、伊勢原公民館オープン
 - 5月7日 市民相談室分室オープン
 - 8月1日 障害者就労支援センターオープン
 - 9月27日 フランス・オータン市との姉妹都市盟約及び北海道中札内村との友好都市盟約締結について可決。10月にオータン市、11月に中札内村と締結
 - 12月1日 市制施行80周年記念式典
 - 12月7日 クレアパークオープン
 - 12月24日 市公共工事発注に関わる競売入札妨害罪で助役が逮捕されたことを受け、綱紀粛正を求める決議を可決
- 平成15年 (2003)
- 4月1日 中核市へ移行



川越駅東口複合施設「クラッセ川越」



東邦音楽大学による初の議場コンサート



完成間近の川越市立美術館

議員定数 40名 期中所属数 40名(男性36名・女性4名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑨ 伊藤 義郎
- ⑧ 菊地 実治
- 中山 孝治
- 山村 健仁
- ⑦ 江田 俊雄
- 佐藤 恵士
- 高橋 康博
- ⑥ 石川 良三郎
- 松岡 秀仁
- ⑤ 新井 喜一

- 大河内 賢一
- 栗原 隆啓
- ④ 石川 秀久
- 中原 哲也
- ③ 岩崎 肇
- 江田 慶治
- 大野 昇
- 加藤 薫
- 小林 京子
- 清水 肇
- 山口

- ② 新井 金作
- 稲浦 敏雄
- 牛窪 多喜男
- 荻窪 一郎
- 倉嶋 美恵子
- 松井 釜太郎
- 山口 智也
- 吉田 光雄
- ① 小ノ澤 哲也
- 小野澤 康弘
- 片野 広隆
- 川口 知子

- 神田 寿雄
- 田口 勇剛
- 高橋 喜久蔵
- 三上 綾子
- 山木 保
- 若海

会派一覧 (50音順)

- 啓政会
- 公明党議員団
- 市民クラブ
- 日本共産党川越市議会議員団
- プロジェクト川越21
- 民主党議員団
- 民主無所属クラブ
- <H17.6変更>

丸数字は当選回数

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 平成15年 (2003)
 - 4月27日 市議会議員選挙(定数40名)
 - 7月1日 聴覚障害者の方が傍聴できるよう、本会議場での手話通訳を試行的に実施
 - 9月28日 川越まつり会館オープン
 - 12月1日 市のホームページで市議会会議録の閲覧が可能に
- 平成16年 (2004)
 - 3月27日 小江戸川越大使誕生
 - 4月1日 川越市保健所業務開始
 - 5月22日 仙波河岸史跡公園オープン
 - 7月12日 仮称管間学校給食センター新築工事請負契約を可決
 - 9月11日 彩の国まごころ国体夏季大会「サッカー(成年男子)」「ゴルフ(成年男子・少年男子)」開催(9月11日～14日)
 - 10月4日 地域振興ふれあい拠点施設建設にかかわる川越駅西口周辺整備対策特別委員会を設置(12名/平成19.2.23調査終了)



本会議場で試行的に実施された手話通訳

- 平成16年 (2004)
 - 10月24日 彩の国まごころ国体秋季大会「バレーボール(少年女子)」「高校野球(軟式)」開催(10月24日～27日)
- 平成17年 (2005)
 - 2月21日 「川越氷川祭の山車行事」が国の重要無形民俗文化財に指定
 - 7月11日 姉妹都市提携20周年記念公式行事に参加するため、アメリカ・セーレム市に山口肇議長ら11名を派遣
 - 8月15日 「小江戸かわごえ平和都市宣言・2005」を宣言
 - 9月28日 アスベスト被害の対策を求める意見書を可決
 - 11月24日 伊佐沼農産物直売所オープン
- 平成18年 (2006)
 - 7月15日 霞ヶ関駅北口開設
 - 9月25日 仮称高階地区公共施設新築工事請負契約を可決
 - 9月25日 市職員の公金横領事件の解明並びに行政組織管理体制に関する調査についての決議を可決
 - 9月25日 市職員の公金横領事件の解明等に関する調査特別委員会を設置(10名/平成19.2.23調査終了)
 - 9月25日 公契約における適正な労働条件の確保を求める意見書を可決
 - 9月25日 ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書を可決
 - 10月10日 「川越ナンバー」スタート
 - 12月11日 広報紙編集委員会を設置
 - 12月22日 川越市路上喫煙の防止に関する条例を可決。平成19年4月施行
- 平成19年 (2007)
 - 3月20日 仮称東部地域ふれあいセンター新築工事請負契約を可決
 - 3月23日 小江戸川越観光親善大使誕生
 - 3月28日 天皇、皇后両陛下とスウェーデン国王、王妃両陛下が川越をご訪問



セーレム市で行われた姉妹都市提携20周年記念式典に山口肇議長ら出席

請願について

■昭和63年から平成17年にかけて、国の制度見直しの動きに合わせ、義務教育諸学校の事務職員、学校栄養職員に係る義務教育費国庫負担制度の継続に関する意見書提出を求める請願が毎年提出され、採択されました。川越市議会は、義務教育の水準確保と地方財政の安定を図るため内閣総理大臣など関係機関に意見書を提出してきました。



川越をご訪問された天皇、皇后両陛下とスウェーデン国王、王妃両陛下

議員定数 40名 期中所属数 41名(男性36名・女性5名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑨ 菊地 実
- ⑧ 佐藤 恵士
- ⑦ 石川 良三郎
- ⑥ 新井 喜一
大河内 衝
- ⑤ 石川 隆二
吉敷 賢一
久保 啓久
中原 秀久
- ④ 江田 肇

- 加藤 昇
- 小林 薫
- 清水 京子
- 本山 修一
- 山口 肇
- ③ 新井 金作
稲浦 敏雄
- 牛窪 多喜男
- 荻窪 一郎
- 倉嶋 美恵子
- 松井 釜太郎
- 山口 智也

- 吉田 光雄
- ② 小ノ澤 哲也
小野澤 康弘
- 片野 広隆
- 川口 知子
- 神田 寿雄
- 関口 勇
- 高橋 剛
- 三上 喜久蔵
- 山木 綾子
- 若海 保
- ① 石川 智明

- 大柿 泉
- 川口 有
- 桐野 啓
- 近藤 芳
- 須賀 博※
- 若狭 みどり

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 啓政会
→やまぶき同志会
<H21.2派生>
- 公明党議員団
- 市民クラブ
- 市民フォーラム
- 自民クラブ
- スピリット50
- 日本共産党議員団
- プロジェクト川越21
- 民主党議員団

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 平成19年 (2007)
 - 4月22日 市議会議員選挙(定数40名)
 - 5月2日 政務調査費の用途に係わるガイドラインを策定
 - 6月6日 議長が関東市議会議長会会長に就任(平成19年度)
 - 9月26日 仮称川越市新清掃センターリサイクル処理棟新築工事請負契約を可決
 - 10月2日 姉妹都市提携5周年記念式典に参加するため、清水副議長をフランス・オータン市に派遣
 - 12月19日 川越市地球温暖化対策条例を可決
- 平成20年 (2008)
 - 3月7日 旧鏡山酒造の明治蔵、大正蔵、昭和蔵が国の登録有形文化財に登録
 - 3月21日 市庁舎建設特別委員会設置(12名/平成21.6.5調査終了)
 - 4月2日 東部地域ふれあいセンターオープン
 - 4月28日 高階市民センターオープン
 - 6月27日 仮称川越市新清掃センター啓発施設新築工事請負契約を可決
 - 平成22年4月、環境プラザ(つばさ館)オープン
 - 9月25日 旧市民体育館代替施設早期建設に関する請願書を採択



東部地域ふれあいセンター



高階市民センター

平成21年 (2009)	● 3月30日	川越が舞台のNHK連続テレビ小説「つばさ」放送(3月30日～9月26日)
	● 6月29日	朝鮮民主主義人民共和国の核実験に抗議する決議を可決、意見書を可決
	● 11月6日	姉妹都市提携25周年記念式典に参加するため、中原議長をドイツ・オッフエンバッハ市に派遣
	● 11月15日	国指定史跡 河越館跡史跡公園オープン
	● 11月30日	名細市民センターオープン
	● 12月2日	川越総合卸売市場株式会社の経営改善に係る決議を可決
平成22年 (2010)	● 3月27日	川越市マスコットキャラクター「ときも」発表
	● 4月1日	資源化センター本稼働
	● 4月28日	農産物直売所「あぐれっしゅ川越」オープン
	● 7月26日	川越都市計画道路・川越駅南大塚線開通
	● 9月24日	川越市なぐわし公園温水利用型健康運動施設等整備運営事業契約を可決
	● 10月1日	産業観光館(小江戸蔵里)オープン
	● 12月17日	川越市議会議員定数条例の一部を改正する条例を可決(平成23年4月の選挙より定数を40名から36名へ削減)
	● 12月	議会改革(定数40名→36名、政務調査費・費用弁償削減、視察旅費削減、経理責任者会議の設置、議長交際費の公開、決算審査を各常任委員会に委託)
平成23年 (2011)	● 1月20日	川越市議会議長交際費の支出及び公表に関する要綱施行
	● 2月7日	旧山崎家別邸の庭園が国の登録記念物に指定
	● 3月11日	東日本大震災
	● 3月16日	川越市議会委員会条例の一部改正。4常任委員会の名称、定数及びその所管を変更。また、川越市議会議規則にて市議会議員協議会を定める
	● 3月16日	東北地方太平洋沖地震に関する決議を可決
	● 4月1日	仲町観光案内所・鍛冶町広場オープン



平成21年11月15日にオープンした河越館跡史跡公園



議長席に座る 川越市マスコットキャラクター「ときも」



名細市民センター



新富町1丁目にオープンした産業観光館小江戸蔵里

議員定数 36名 期中所属数 36名(男性27名・女性9名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑦ 新井 喜一
- ⑥ 吉敷 賢一
- ⑤ 久保 啓一
- ⑤ 江田 肇
- 加藤 昇
- 小林 薫
- 清水 京子
- 本山 修一
- ④ 牛窪 多喜男

- 倉嶋 美恵子
- 吉田 光雄
- ③ 小ノ澤 哲也
- 小野澤 康弘
- 片野 広隆
- 川口 知子
- 関口 勇
- 高橋 剛
- 三上 喜久蔵
- 山木 綾子
- 若海 保

- ② 石川 智明
- 大泉 一夫
- 柿田 有介
- 川口 啓一
- 桐野 忠宏
- 近藤 芳宏
- 若狭 みどり
- ① 明ヶ戸 亮太
- 荻窪 利充
- 今野 英子
- 高梨 淑子

- 中原 秀文
- 中村 邦史
- 三浦 根史
- 山吉 郁
- 文明 彦子

丸数字は当選回数

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 市民フォーラム
- 自民クラブ
→ 自民無所属クラブ
<H24.4変更>
→ 自由民主党議員団
<H26.11変更>
- 日本共産党議員団
- プロジェクト川越21
- 民主党議員団
- みんなの党
- やまぶき会

❖ 川越市議会・社会の出来事

- 平成23年 (2011)
 - 4月24日 市議会議員選挙(定数36名)
 - 10月 川越市キャッチフレーズを「時が人を結ぶまち川越」に決定
 - 12月16日 ふれあい歯科診療所条例を可決
 - 12月16日 市内循環バス「川越シャトル」の見直し案の再考を求める決議を可決
- 平成24年 (2012)
 - 2月22日 議会のインターネット中継を開始(開会日、議案質疑日、最終日)
 - 4月1日 川越市医師会夜間休日診療所オープン
 - 4月2日 ふれあい歯科診療所診療開始
 - 6月22日 仮称西部地域振興ふれあい拠点施設の建設に関する協定を可決
 - 8月5日 なぐわし公園PIKOAオープン
 - 10月2日 仮称大東市民センター新築工事請負契約を可決
 - 10月2日 川越駅西口駅前広場改修工事請負契約を可決
 - 10月2日 いじめの延長上の傷害事件を教訓にいじめ再発防止を強く求める決議を可決
 - 10月19日 条例づくり等の政策提案を検討するため、政策検討会議を設置
 - 11月14日 子ども議会開催

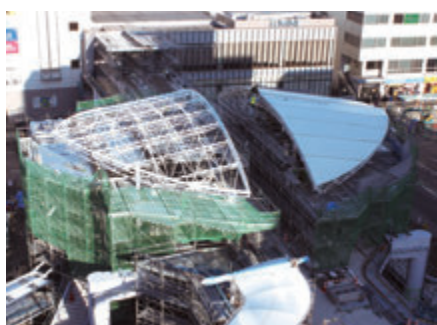


平成24年11月14日に開催された子ども議会

- 平成24年 (2012)
 - 12月1日 市制施行90周年記念式典
 - 12月3日 原動機付自転車のオリジナルナンバー導入
 - 12月21日 川越市議会災害対策支援本部に関する要領を決定
- 平成25年 (2013)
 - 3月26日 川越駅西口駅前広場シェルター設置工事請負契約を可決
 - 4月1日 こども未来部設置
 - 6月27日 仮称川越市新斎場建設事業用地の取得を可決
 - 6月27日 川越駅西口まちづくり懇話会の設置 (10名/調査を目的とする特別委員会を設置したため平成27.6.4廃止)
 - 9月8日 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定。市内でゴルフ競技開催予定
 - 9月27日 なぐわし公園整備事業用地の取得を可決
 - 11月3日 姉妹都市提携10周年記念公式行事への出席及び先進都市視察のため、フランス・オータン市に大泉副議長ら7名を派遣
 - 11月28日 川越市名誉市民の称号の贈与について同意し、名誉市民の称号を舟橋功一氏へ贈ることを決定
- 平成26年 (2014)
 - 2月3日 川越市役所本庁舎耐震改修工事請負契約を可決 (平成27年11月完成)
 - 3月26日 川越駅西口駅前広場改修事業終了
 - 6月25日 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書を採択、意見書を可決
 - 6月25日 川越市議会会議規則を改正、常任委員会正副委員長会議を設置
 - 8月 ペーパーレス化を図ることを目的に、各議員用にタブレット端末機を導入
 - 11月12日 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会川越市支援委員会設立
 - 12月19日 仮称川越市新斎場新築工事請負契約を可決
- 平成27年 (2015)
 - 2月 川越市議会タブレット端末機使用基準を決定。議案等のインターネット公開を開始
 - 3月23日 ウェスタ川越オープン
 - 3月 地方自治法改正に伴い、議員活動の活性化を図るため、政務活動費に充てることのできる経費の範囲に会議費等を追加する条例改正を行い、ガイドラインも見直し
 - 4月2日 元町休憩所オープン



オータン市で行われた姉妹都市提携10周年記念式典
(左から大泉副議長、マグリカ助役)



工事中の川越駅西口駅前広場



平成27年3月23日にオープンしたウェスタ川越

議員定数 36名 期中所属数 37名(男性29名・女性8名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑧ 新井 喜一
- ⑥ 江田 肇
- 小林 薫
- ⑤ 牛窪 多喜男
- 矢部 操
- 吉田 光雄
- ④ 小ノ澤 哲也
- 小野澤 康弘
- 片野 広隆

- 川口 知子
- 関口 勇剛
- 高橋 剛
- 三上 喜久蔵
- 山木 綾子
- ③ 大泉 一夫
- 柿田 有一
- 川口 啓介
- 桐野 忠
- 近藤 芳宏
- ② 明ヶ戸 亮太

- 荻窪 利充
- 今野 英子
- 中原 秀文
- 中村 文明
- 三浦 邦彦
- 吉野 郁恵
- ① 池浜 あけみ
- 伊藤 正子
- 奥貫 真紀
- 長田 雅基
- 小高 浩行

- 海沼 秀幸
- 沼啓 祐
- 岸 敷賢一郎
- 吉敷 瑞治
- 栗原 瑞治
- 田畑 たき子
- 樋口 直喜

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 公明党議員団
- 市民フォーラム
- 自由民主党川越市議団
- 政晴会
- 日本共産党議員団
- 民主党議員団
- 民進党議員団
- <H28.4変更>
- 立憲・民進党議員団
- <H30.4変更>
- 立憲・国民議員団
- <H30.8変更>
- 無所属の会
- やまぶき会

❖ 川越市議会・社会の出来事

平成27年
(2015)

- 4月26日 市議会議員選挙(定数36名)
- 6月4日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会を設置(13名/令和元.5.1任期満了)
- 6月4日 川越駅周辺対策特別委員会を設置(13名/平成30.12.21調査終了)
- 6月4日 人口問題と社会現象に関する特別委員会、いじめ問題対策特別委員会を設置(各10名/平成29.3.24調査終了)

平成28年
(2016)

- 6月21日 菓子屋横丁で火災発生
- 6月28日 ウェスタ川越大ホールこけら落とし公演
- 6月30日 市民会館閉館
- 8月31日 人口が35万人を突破
- 2月4日 議会開会中に火災が発生したことを想定した避難訓練を初めて実施
- 2月20日 本川越駅西口が開通
- 3月16日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会「事前キャンプ誘致及びホストタウンに関する要請」を市長に提出
- 6月13日 川越駅周辺対策特別委員会が「川越駅東口駅前広場に関する意見」を市長に提出



開通した西武新宿線本川越駅西口

- 平成28年
(2016)
- 6月25日 姉妹都市提携30周年記念式典への出席、先進都市視察のため、アメリカ・セーレム市に小ノ澤議長ら議員6名を派遣
 - 12月1日 川越氷川祭の山車行事がユネスコ無形文化遺産に登録決定
 - 12月20日 人口問題と社会現象に関する特別委員会が「人口問題と社会現象に関する意見」を市長に提出
- 平成29年
(2017)
- 3月24日 いじめ問題対策特別委員会がいじめ・不登校問題について提言を盛り込んだ調査報告書を市へ提出
 - 3月30日 川越市議会100周年記念誌制作の検討を開始
 - 4月1日 新斎場供用開始
 - 5月18日 台湾・台北市議会、高雄市議会との視察交流及び高雄旅行博参加のため、議員6名を派遣
 - 9月20日 川越市議会公式ツイッター・フェイスブックを開設
 - 10月22日 台風第21号により床上床下浸水480件の被害発生を受け、対応状況について報告を受けるため、第8回急務臨時会を開会。12月に台風第21号災害の復旧を求める決議を可決
 - 10月 政務活動費の使途に係わるガイドラインをホームページに掲載
 - 12月3日 新河岸駅の自由通路及び橋上駅舎、西口駅前広場が完成。東口を新設
 - 12月13日 防災・減災対策特別委員会を設置(10名/平成30.12.21調査終了)
- 平成30年
(2018)
- 6月15日 川越地区消防組合のあり方に関する特別委員会を設置(8名/平成30.11.29調査終了)
 - 6月29日 川越市手話言語条例を可決
 - 9月28日 市議会議員によるハラスメントの事実調査及び職場環境改善に係る第三者委員会を設置
 - 10月29日 ハラスメントに関する研修会を実施(議員のコンプライアンス及びハラスメントについて)
 - 11月29日 川越地区消防組合のあり方に関する特別委員会が、川越地区消防組合のあり方に関する決議案を委員会提出議案として本会議へ提出する旨報告し調査を終了
 - 11月29日 第三者委員会から調査結果が提出され、報告書でハラスメントの防止と職場環境の改善案として7案の提案を受ける
 - 12月12日 議員倫理条例策定会議を設置
 - 12月21日 川越市議会のハラスメント根絶に関する決議を可決
- 平成31年
(2019)
- 2月17日 オリンピックに向けて笠幡駅駅前広場が完成
 - 2月18日 デマンド型交通運行開始
 - 3月4日 平成31年第1回定例会から一般質問についてもインターネット中継を開始
 - 3月7日 川越市議会ハラスメント根絶条例を制定
 - 3月18日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会がこれまでの調査結果を踏まえ、9点を要望
 - 4月25日 平成31年4月25日号から、点字版及び音声版の議会だよりを発行



セーレム市で行われた姉妹都市提携30周年記念式典
(左からマッコイド議長、小ノ澤議長)



台湾・台北市議会との視察交流



東武東上線新河岸駅橋上化整備事業の完成を記念し
式典を開催



オリンピックゴルフ競技会場の最寄駅である笠幡
駅前広場が完成

議員定数 36名 期中所属数 37名(男性29名・女性8名)



議員一覧

(当選回数、50音順)

- ⑦ 小林 薫
- ⑥ 矢部 操
- ⑤ 小ノ澤 哲也
- 小野澤 康弘
- 片野 広隆
- 川口 知子
- 高橋 剛
- 三上 喜久蔵
- 山木 綾子

- ④ 大 泉 一 夫
- 柿 田 有 一
- 川 口 啓 介
- 桐 野 忠 忠
- 近 藤 芳 宏
- ③ 明ヶ戸 亮 太
- 今 野 英 子
- 中 原 秀 文
- 中 村 文 明
- 吉 野 郁 恵
- ② 池 浜 あけみ

- 伊 藤 正 子
- 長 田 雅 基
- 小 高 浩 行
- 海 沼 秀 幸
- 岸 啓 祐
- 吉 敷 賢 一 郎
- 栗 原 瑞 治
- 田 畑 たき子
- 樋 口 直 喜
- ① 牛 窪 喜 史
- 川 目 武 彦

- 糸 倉 真美子
- 嶋 真 史 ※
- 嶋 田 弘 二 夫
- 須 賀 昭 浩 紀
- 中 野 敏 博
- 村 山 博 紀

丸数字は当選回数
※補欠選挙当選者

会派一覧 (50音順)

- 川越政策フォーラム
- 公明党議員団
- 自由民主党川越市議団
- 政晴会 ※
- 清令会 ※
- 日本共産党議員団

※令和3年4月26日付けで政晴会及び清令会が解散し、新たに政晴会を結成。

❖ 川越市議会・社会の出来事

- | | |
|----------------------------------|---|
| <p>平成31年
令和元年
(2019)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 4月21日 市議会議員選挙(定数36名) ● 5月1日 令和に改元 ● 6月4日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会を設置(10名/令和3.11.22調査終了) ● 6月18日 川越市議会災害対策支援会議を設置 ● 8月8日 姉妹都市提携35周年記念公式行事および市議会訪問のため、ドイツ・オッフェンバッハ市に三上議長ら議員4名を派遣 ● 9月19日 議員倫理等に関する研修会を実施 ● 9月30日 旧山崎家別邸が国の重要文化財に指定される ● 10月2日 オッフェンバッハ市青少年交流団が来川(10月2日～9日) ● 12月5日 10月の令和元年東日本台風(台風第19号・激甚災害)による被害を受け、災害復旧支援に係る一般会計補正予算を可決 ● 12月18日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会がオリンピック開催に向けて市長に要望 |
|----------------------------------|---|



オッフェンバッハ市議会を訪問する三上議長ら

- 令和2年 (2020)**
- 1月15日 日本国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染を確認
 - 3月 市職員が新型コロナウイルス感染症に伴う対応に専念できるよう、3月定例会において一般質問の実施を見送り
 - 3月13日 川越市議会新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を設置。その後、川越市議会災害対策支援会議が役割を引き継ぐ
 - 4月7日 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が7都府県に発令される
 - 4月10日 予定されていた第2回臨時会開催を、緊急事態宣言が出されたことを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応を最優先とするため見送り
 - 4月17日 川越市議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアル策定
 - 5月1日 川越市議会災害対策支援指針を決定
 - 5月 5月の臨時会から議場における感染症対策として、出席人数を削減。常任委員会は2委員会ずつ日程を分けて開催。議場には囲いや遮蔽板を設置
 - 6月 議場コンサート開催を見送り(令和3年12月定例会まで)
 - 6月8日 川越市民サービスステーションがU PLACE(川越駅西口)内にオープン。南連絡所移転
 - 6月24日 新型コロナウイルス感染症対策等に対応する事業に活用するため、川越市議会政務活動費交付条例を一部改正し、令和2年10月から3年3月まで政務活動費を減額
 - 6月24日 行政視察の見直し、政務活動費の減額改定により議会費を削減。避難所における感染症のリスク低減等を図るためのパーティーション、段ボールベッド等を購入する経費へ
 - 10月 新型コロナウイルス感染症の影響により川越まつり中止
 - 11月 越えていこう、川越 小江戸プレミアム付商品券発行
 - 12月 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済情勢や本市の財政事情等を踏まえ、川越市議会政務活動費交付条例を改正し令和3年度の政務活動費を減額。行政視察の見直しと併せ、令和2年度に引き続き議会費を削減
 - 12月3日 川越市議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを改正
- 令和3年 (2021)**
- 1月8日 緊急事態宣言に基づく措置を実施
 - 4月4日 新型コロナウイルス感染症拡大のため延期された成人式が実施される
 - 4月20日 まん延防止等重点措置が実施される
 - 4月26日 高齢者への新型コロナワクチン接種開始
 - 6月21日 2020年東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会が大会開催にあたり留意すべき事項について市長に要望
 - 7月5日 川越市子育て安心施設(すくすくかわごえ)オープン
 - 7月8日 東京2020オリンピック聖火が川越へ。聖火ランナーが川越を巡る
 - 7月29日 東京2020オリンピック開催。霞ヶ関カンツリー倶楽部がゴルフ競技の会場となる(7月29日～8月7日)
 - 8月 議場改修工事のため、9月定例会と12月定例会を代替議場で開催
 - 10月 川越まつり2回目の中止
- 令和4年 (2022)**
- 2月16日 設備改修が完了した新議場で審議が行われる
 - 3月29日 ハラスメントの防止及び根絶に関する研修会を実施
 - 12月1日 市制施行100周年記念式典
- 令和5年 (2023)**
- 2月 川越市議会100周年



令和元年9月、令和4年3月に議員倫理等に関する研修会を実施



議会費を削減し、減額分を避難所における感染症対策の段ボールベッド等の購入に充当



東京2020オリンピック聖火ランナー川越を巡る

川越市議会を場所・モノから見る

議会の場所

議場（令和4年2月～）



市役所の空調改修工事に併せて、新たに150インチスクリーン、資料表示・時間表示用モニター、書画カメラが設置された他、スピーカーの改修や照明のLED化等を行い、現代的な議場に生まれ変わりました。

（新型コロナウイルス感染症対策として、アクリル板を設置しています）



改修前の議場（～令和3年6月）

音響や空調設備の老朽化により、令和3年6月議会を最後に改修工事が行われました。

旧庁舎では、円形の議場を使用していました。

旧議場（～昭和47年）



正副議長室



正副議長室の一部

旧庁舎



会議名表示板



ロビー



議場の改修中のハナシ

議場改修中の令和3年9月定例会と12月定例会は、市役所7階の第1・第5委員会室の間の可動式間仕切りを取り払い、代替議場として開催しました。



代替議場



出席議員を調整するため、会議室でモニターを視聴

新型コロナウイルス感染症対策として、アクリル板を設置しました。また、議案採決時のみ全議員が出席し、それ以外の議事は定足数（議長含め18名）に留意し、出席議員を調整しました。

議会を見る

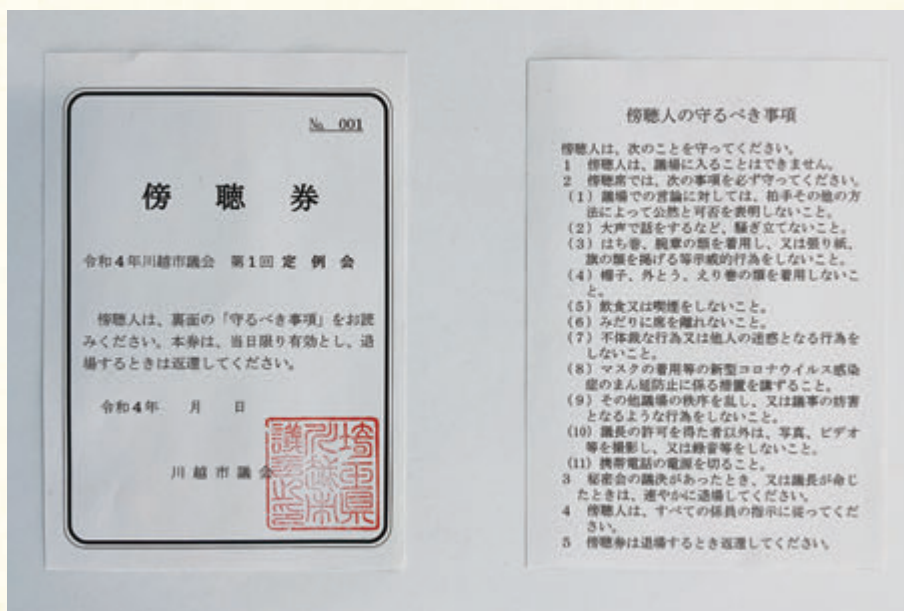
傍聴席と傍聴券



本会議は一般に公開されています。傍聴希望の方は市役所7階の受付で申込書に住所と氏名を記入し、傍聴券を受け取り、傍聴席からご覧いただけます。
また、インターネットで議会中継を見ることもできます。



傍聴受付



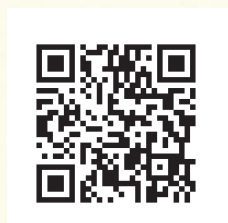
会議録



会議録は本会議や委員会での発言や議事の経過などをまとめた公文書です。定例会や臨時会ごとに作成する他、長期間の保存に耐えられるよう再製本を行っています。また、平成7年以降の会議録をWEB上で閲覧・検索することができます。

【川越市議会 会議録検索】

<https://www.city.kawagoe.saitama.dbsr.jp/index.php/>



議員章



議会のモノ

議場に入場する際、議員は議員章を着用します。

登庁時には出退表示板のランプを点灯します。出退表示板は正副議長室、議会事務局等に設置されており、点灯により出退状況が確認できます。



出退表示板

歴代議長一覧

代	議長名	在職期間
第1代	矢澤四郎右衛門	大正 12.2.24～大正 14.2.21
第2代	鈴木 徳次郎	// 14.2.24～昭和 2.2.12
第3代	鈴木 徳次郎	昭和 2.2.24～ // 5.9.15
第4代	栗原 登喜蔵	// 5.11.14～ // 7.2.20
第5代	栗原 登喜蔵	// 7.2.24～ // 9.10.31
第6代	久米原 脩 丈	// 9.11.13～ // 13.10.31
第7代	河合 正 臣	// 13.11.16～ // 16.2.28
第8代	木崎 守 長	// 16.3.3 ~ // 17.10.31
第9代	河合 正 臣	// 17.11.13～ // 20.4.16
第10代	伊藤 長三郎	// 20.5.9 ~ // 21.9.30
第11代	山崎 嘉 七	// 21.11.25～ // 22.4.30
第12代	松山 莊次郎	// 22.5.26～ // 23.5.8
第13代	須永 酉 馬	// 23.5.8 ~ // 24.6.13
第14代	熊井 庄太郎	// 24.6.13～ // 24.12.26
第15代	加藤 熊次郎	// 24.12.26～ // 25.3.8
第16代	金剛 秀 一	// 25.8.29～ // 26.4.29
第17代	樋口 政 一	// 26.5.8 ~ // 27.6.26
第18代	飯野 昌 八	// 27.6.26～ // 28.7.2
第19代	大河内 要 三	// 28.7.2 ~ // 29.7.2
第20代	西川 卯 八	// 29.7.2 ~ // 30.4.3
第21代	鈴木 泰 平	// 30.5.19～ // 31.5.28
第22代	水村 三 郎	// 31.5.28～ // 32.7.4
第23代	岸野 仁太郎	// 32.7.4 ~ // 32.11.8
第24代	小谷野 章 次	// 32.12.18～ // 34.5.1
第25代	松山 莊次郎	// 34.5.26～ // 35.9.26
第26代	櫻井 角太郎	// 35.9.26～ // 36.5.19
第27代	神田 禧 一	// 36.5.19～ // 37.6.8
第28代	櫻井 角太郎	// 37.6.8 ~ // 37.9.29
第29代	井上 彦二郎	// 37.10.2 ~ // 38.5.1
第30代	勝田 作 造	// 38.5.27～ // 39.5.29
第31代	石川 弥左衛門	// 39.5.29～ // 40.3.31
第32代	川合 喜 一	// 40.3.31～ // 41.4.4
第33代	山本 道 隆	// 41.4.4 ~ // 42.5.1
第34代	関根 初 治	// 42.5.19～ // 45.6.2
第35代	坂本 光 雄	// 45.6.2 ~ // 46.5.1
第36代	栗原 定 一	// 46.5.19～ // 47.3.30
第37代	根岸 春 吉	// 47.3.30～ // 48.10.8
第38代	岩崎 靖 夫	// 48.10.8 ~ // 50.5.1
第39代	天沼 半右衛門	// 50.5.15～ // 51.4.22
第40代	伊藤 宗 一	// 51.4.22～ // 52.4.26
第41代	戸田 正 雄	// 52.4.26～ // 53.4.6
第42代	山口 登	// 53.4.6 ~ // 54.5.1
第43代	森田 栄	// 54.5.18～ // 55.3.11
第44代	中里 甲子寿	// 55.3.14～ // 56.5.21

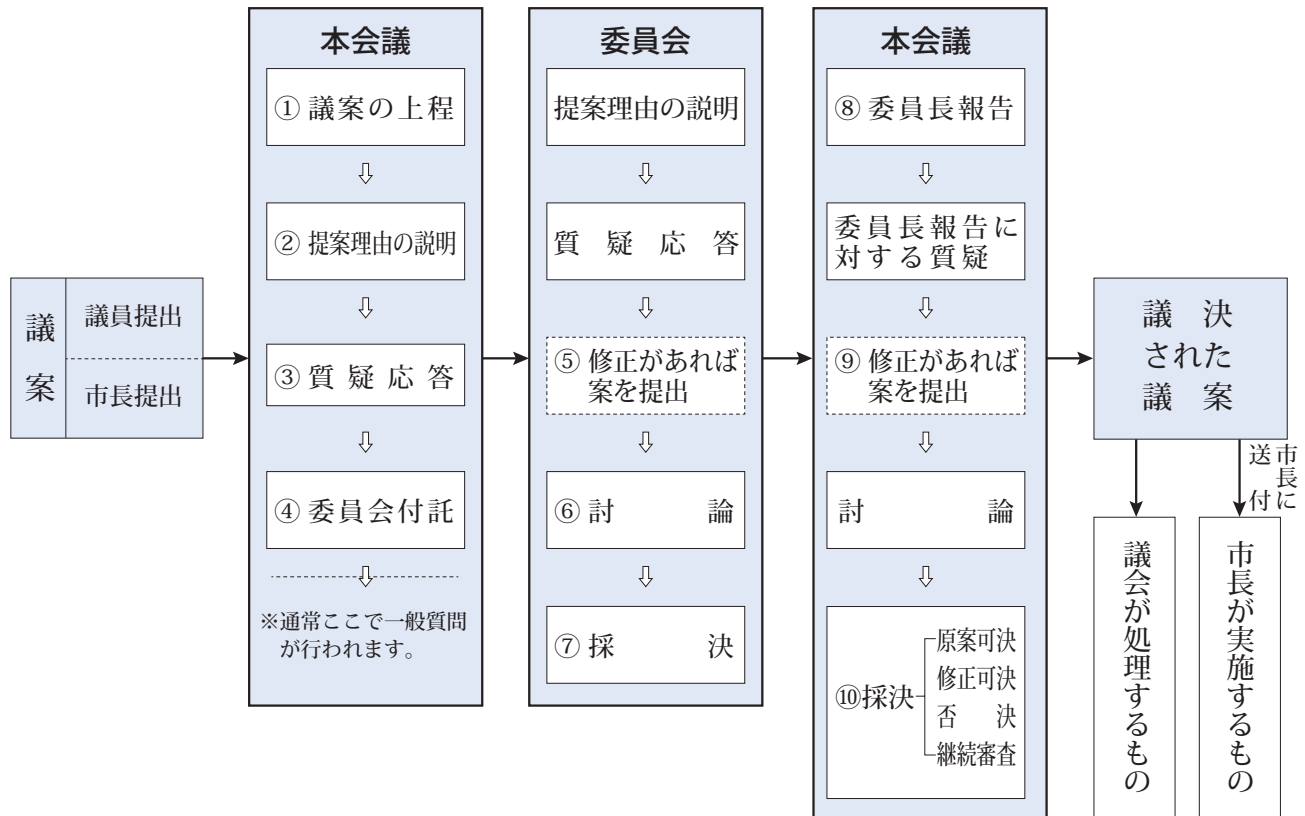
代	議長名	在職期間
第45代	森 田 栄	昭和 56.5.21～昭和 57.6.28
第46代	伊藤 義 郎	// 57.6.28～ // 58.5.1
第47代	島村 権 治	// 58.6.1 ~ // 59.4.11
第48代	細野 浩 平	// 59.4.11～ // 60.5.13
第49代	宇津木 克 雄	// 60.5.13～ // 61.5.12
第50代	小川 芳 雄	// 61.5.12～ // 62.5.1
第51代	岡島 和 夫	// 62.5.14～ // 63.6.23
第52代	沢田 勝五郎	// 63.6.23～平成 元.5.29
第53代	天沼 照 雄	平成 元.5.29～ // 2.5.9
第54代	増田 利 夫	// 2.5.9 ~ // 3.5.1
第55代	伊藤 義 郎	// 3.5.15～ // 4.6.18
第56代	井上 勇	// 4.6.18～ // 5.9.6
第57代	永堀 善 一	// 5.9.6 ~ // 6.9.6
第58代	矢部 操	// 6.9.6 ~ // 7.2.22
第59代	井上 精 一	// 7.2.28～ // 7.5.1
第60代	福田 昭 平	// 7.5.24～ // 8.9.5
第61代	小山 晋 一	// 8.9.5 ~ // 9.9.8
第62代	石川 良三郎	// 9.9.8 ~ // 10.9.14
第63代	中村 孝 治	// 10.9.14～ // 11.5.1
第64代	大河内 衍	// 11.5.18～ // 12.6.6
第65代	吉敷 賢	// 12.6.6 ~ // 13.3.21
第66代	栗原 賢 一	// 13.3.21～ // 14.4.12
第67代	新井 喜 一	// 14.4.12～ // 15.5.1
第68代	久保 啓 一	// 15.5.12～ // 16.6.3
第69代	江田 肇	// 16.6.3 ~ // 17.6.2
第70代	山口 肇	// 17.6.2 ~ // 18.6.2
第71代	加藤 昇	// 18.6.2 ~ // 19.5.1
第72代	大河内 衍	// 19.5.14～ // 20.6.11
第73代	石川 隆 二	// 20.6.11～ // 21.6.5
第74代	中原 秀 久	// 21.6.5 ~ // 21.12.17
第75代	山口 智 也	// 21.12.17～ // 22.6.22
第76代	小林 薫	// 22.6.22～ // 23.5.1
第77代	三上 喜久蔵	// 23.5.13～ // 24.6.22
第78代	小野澤 康 弘	// 24.6.22～ // 25.6.7
第79代	江田 肇	// 25.6.7 ~ // 26.10.1
第80代	新井 喜 一	// 26.10.1 ~ // 27.5.1
第81代	吉田 光 雄	// 27.5.15～ // 28.4.14
第82代	小ノ澤 哲 也	// 28.4.14～ // 29.4.7
第83代	大泉 一 夫	// 29.4.7 ~ // 30.4.6
第84代	小野澤 康 弘	// 30.4.6 ~令和 元.5.1
第85代	三上 喜久蔵	令和 元.5.16～ // 2.6.2
第86代	片野 広 隆	// 2.6.2 ~ // 3.6.1
第87代	桐野 忠	// 3.6.1 ~ // 4.6.2
第88代	小野澤 康 弘	// 4.6.2 ~

歴代副議長一覧

代	副議長名	在職期間
第1代	船津長喜	大正 12.2.24～大正 14.2.21
第2代	綾部恒之助	〃 14.2.21～昭和 2.2.2
第3代	栗原登喜蔵	昭和 2.2.24～ 〃 5.9.5
第4代	印藤順造	〃 5.11.14～ 〃 6.2.24
第5代	清水友右エ門	〃 6.4.27～ 〃 9.10.31
第6代	佐藤又蔵	〃 9.11.13～ 〃 13.10.31
第7代	新井長治	〃 13.11.16～ 〃 16.2.28
第8代	新井平吉	〃 16.3.3～ 〃 17.10.31
第9代	伊藤長三郎	〃 17.11.13～ 〃 20.5.9
第10代	竹内栄吉	〃 20.5.9～ 〃 21.10.25
第11代	馬場祐作	〃 21.10.25～ 〃 22.4.30
第12代	須永酉馬	〃 22.5.26～ 〃 23.5.8
第13代	熊井庄太郎	〃 23.5.8～ 〃 24.6.10
第14代	神山義男	〃 24.6.13～ 〃 26.4.29
第15代	中村覚之助	〃 26.5.28～ 〃 27.6.26
第16代	馬場福太郎	〃 27.6.26～ 〃 28.7.1
第17代	小澤一作	〃 28.7.2～ 〃 29.7.2
第18代	川合喜一	〃 29.9.29～ 〃 30.5.1
第19代	但木敬吾	〃 30.5.19～ 〃 31.5.28
第20代	橋本栄一	〃 31.5.28～ 〃 32.7.4
第21代	櫻井角太郎	〃 32.7.4～ 〃 32.12.18
第22代	池田勇吉	〃 33.3.10～ 〃 34.5.1
第23代	櫻井角太郎	〃 34.5.26～ 〃 35.9.26
第24代	癸智公太郎	〃 35.9.26～ 〃 36.5.19
第25代	鈴木弘一	〃 36.5.19～ 〃 37.6.8
第26代	神山義男	〃 37.6.8～ 〃 38.5.1
第27代	関根初治	〃 38.5.27～ 〃 39.5.29
第28代	小山米三	〃 39.5.29～ 〃 40.4.1
第29代	根岸春吉	〃 40.4.1～ 〃 41.4.4
第30代	富田雅次	〃 41.4.4～ 〃 42.5.1
第31代	小沢善作	〃 42.5.10～ 〃 45.6.2
第32代	鈴木啓介	〃 45.6.2～ 〃 46.5.1
第33代	伊藤宗一	〃 46.5.19～ 〃 47.3.30
第34代	深田綱三	〃 47.3.30～ 〃 48.10.8
第35代	中野清	〃 48.10.8～ 〃 50.5.1
第36代	森田栄	〃 50.5.15～ 〃 51.4.22
第37代	水村高次	〃 51.4.22～ 〃 52.4.26
第38代	宇津木克雄	〃 52.4.26～ 〃 53.4.6
第39代	伊藤義郎	〃 53.4.6～ 〃 54.5.1
第40代	細野浩平	〃 54.5.19～ 〃 55.3.17
第41代	島村権治	〃 55.3.19～ 〃 56.5.21
第42代	間仁田春二	〃 56.5.21～ 〃 58.5.1
第43代	小川芳雄	〃 58.6.1～ 〃 59.4.11

代	副議長名	在職期間
第44代	須永富男	昭和 59.4.11～昭和 60.5.13
第45代	岡島和夫	〃 60.5.13～ 〃 61.5.12
第46代	井上勇	〃 61.5.12～ 〃 62.5.1
第47代	沢田勝五郎	〃 62.5.14～ 〃 63.6.23
第48代	藤倉太郎	〃 63.6.23～平成元.5.29
第49代	井上精一	平成元.5.29～ 〃 2.5.9
第50代	忍田宗和	〃 2.5.9～ 〃 3.5.1
第51代	永堀善一	〃 3.5.15～ 〃 4.6.18
第52代	小山晋一	〃 4.6.18～ 〃 4.6.30
第53代	石川良三郎	〃 4.6.30～ 〃 5.9.6
第54代	中村光男	〃 5.9.6～ 〃 6.9.6
第55代	中村孝治	〃 6.9.6～ 〃 7.5.1
第56代	山下かつ代	〃 7.5.24～ 〃 8.9.5
第57代	江田俊雄	〃 8.9.5～ 〃 9.9.8
第58代	大河内 衍	〃 9.9.8～ 〃 10.9.14
第59代	吉敷 賢	〃 10.9.14～ 〃 11.5.1
第60代	栗原賢一	〃 11.5.18～ 〃 12.6.6
第61代	斉木隆弘	〃 12.6.6～ 〃 13.6.26
第62代	高橋康博	〃 13.6.26～ 〃 15.5.1
第63代	松岡秀仁	〃 15.5.12～ 〃 16.6.3
第64代	中原秀久	〃 16.6.3～ 〃 17.6.2
第65代	石川隆二	〃 17.6.2～ 〃 18.6.2
第66代	岩崎哲也	〃 18.6.2～ 〃 19.5.1
第67代	清水京子	〃 19.5.14～ 〃 20.6.11
第68代	吉田光雄	〃 20.6.11～ 〃 21.6.5
第69代	新井金作	〃 21.6.5～ 〃 21.12.17
第70代	三上喜久蔵	〃 21.12.17～ 〃 22.6.22
第71代	荻窪一郎	〃 22.6.22～ 〃 23.5.1
第72代	小ノ澤 哲也	〃 23.5.13～ 〃 24.6.22
第73代	関口 勇	〃 24.6.22～ 〃 24.9.5
第74代	倉嶋美恵子	〃 24.9.5～ 〃 25.6.7
第75代	大泉一夫	〃 25.6.7～ 〃 26.10.1
第76代	石川智明	〃 26.10.1～ 〃 27.5.1
第77代	関口 勇	〃 27.5.15～ 〃 29.4.7
第78代	中原秀文	〃 29.4.7～ 〃 30.4.6
第79代	山木綾子	〃 30.4.6～令和元.5.1
第80代	片野広隆	令和元.5.16～ 〃 2.6.2
第81代	近藤芳宏	〃 2.6.2～ 〃 3.6.1
第82代	川口啓介	〃 3.6.1～ 〃 4.6.2
第83代	高橋 剛	〃 4.6.2～

議案が議決されるまで



- ① 議案の上程 議長が議案を議題にし、審議をはじめます。
- ② 提案理由の説明 議長が議案を議題とした後、提案者から提案理由の説明を求めます。
- ③ 質疑応答 提出案に対して議員は1議題につき3回を限度として質疑をすることができます。また、議案の細部については付託された委員会で行うことが慣例となっています。
- ④ 委員会付託 質疑が終了すると議長は議題となっている案件を関係する委員会に付託します。ただし、すぐに決めなくてはならないものについては委員会付託を省略し即決します。議会には、議案、請願等を詳細に審査するため、常任委員会が設置されています。常任委員会の名称は以下のとおりで、定数は各委員会9名、委員の任期は2年です。
 - ・総務財政常任委員会
 - ・保健福祉常任委員会
 - ・文化教育常任委員会
 - ・産業建設常任委員会
- ⑤ 委員会における修正案の提出 議会には提出案を修正する権限があります。委員会で委員が修正案を提出しようとするときは、その案を委員長に文書で提出しなければなりません。
- ⑥ 討論 議題となっている案件に対して賛成あるいは反対の意見を表明することで、1人でも多くの人を自分の意見に賛同してもらうために行うものです。
- ⑦ 採決 委員長は付託された案件の可否を会議に諮り、委員会としての結論を出します。
- ⑧ 委員長報告 委員会の審査が終了すると、委員長はその結果を本会議で議長に報告しなければなりません。この報告は本会議で採決する際の判断材料となります。
- ⑨ 本会議における修正案の提出 本会議における修正案の提出は、一定数以上の議員により、その案を文書で議長に提出しなければなりません。
- ⑩ 採決 ここで行われる採決は議会の最終的な判断を下すことで、上程案について原案可決、修正可決、否決、継続審査のうちいずれかに決定されます。

編集後記

川越市議会 100 周年記念誌制作委員会 委員長 山木綾子

この度川越市議会100周年記念誌を発刊できました事を心から嬉しく思っております。これもひとえに小野澤議長をはじめ関係各位のご尽力のお陰と深く感謝申し上げます。

市制施行 100 周年を控え、議会の 100 年間の歩みをまとめられないかという思いから記念誌の制作が動き出しました。制作に当たっては、写真や年表を取り入れ視覚に訴えること、また、親しみやすいものとするを心掛けてまいりました。100 年の月日を限られた紙面に落とし込む作業は思った以上に迷いの付きまとうものとなりましたが、委員全員で一つ一つの出来事を確認できた大変楽しい作業でもありました。いつの時代も、市民の代表として市の発展のために一生懸命に活動してきた議員の姿が垣間見られ、身が引き締まる思いがいたしました。

記念誌制作に先駆け、第 1 期から第 25 期までの議員の集合写真と、昭和 34 年 2 月に第 1 号が発行されて以来図書室に綴ってあった議会だより（議会報）をデジタル化いたしました。このことは、過去の 100 年を後世に残すという点で、今後の本市議会にとりましても意義のあることと自負しております。

この記念誌をご覧ください、100 年間の市政と議会との移り変わりを感じていただけたら幸いに存じます。

最後になりますが、これまで委員会を補佐していただきました議会事務局職員の皆さんと（株）ぎょうせいスタッフの皆様に感謝申し上げます編集後記といたします。



川越市議会 100 周年記念誌制作委員会の変遷

平成29年 3 月30日 代表者会議での決定を受け、川越市議会 100 周年記念誌検討委員会を設置
平成29年 6 月27日 川越市議会 100 周年記念誌制作委員会を設置
平成30年11月 議会だより（議会報）のデータ化を業務委託
令和 3 年 6 月30日 川越市議会 100 周年記念誌制作・印刷業務委託業者を公募型プロポーザル方式で決定
令和 4 年12月 川越市議会 100 周年記念誌発刊

川越市議会 100 周年記念誌制作委員会

委員長 山木綾子
副委員長 吉野郁恵
委員 池浜あけみ
委員 樋口直喜
委員 田畑たき子

川越市議会 100 周年記念誌

令和 4 年12月 発 行

編 集 川越市議会100周年記念誌制作委員会

発行者 川越市議会

埼玉県川越市元町 1 丁目 3 番地 1

印 刷 株式会社 きょうせい 関東支社

1923 ~ 2023



100th Anniversary